

中小企業におけるリスク意識・対策実態調査2023
調査結果報告書

2023年12月
一般社団法人 日本損害保険協会

目次

1. 調査概要			
調査概要	4		
2. 主な調査結果		3. 調査結果	
総括1/2	7	企業を取り巻くリスク Q1認知状況	16
総括2/2	8	企業を取り巻くリスク Q2深刻度	19
トピックス①リスク意識	9	企業を取り巻くリスク Q3各リスクの被害額の想定	21
トピックス②被害状況	10	企業を取り巻くリスク Q4経営課題としての関心度	22
トピックス③損害保険加入状況および意識	11	企業を取り巻くリスク Q5リスク別対策状況	24
トピックス④情報接点	12	企業を取り巻くリスク Q6各リスクへの対応時期	27
トピックス⑤3カ年推移1/2	13	企業を取り巻くリスク Q7非対策理由	28
トピックス⑤3カ年推移2/2	14	企業を取り巻くリスク Q8最近のニュースや出来事	30
		企業を取り巻くリスク Q9被害の発生有無(自社/他社)	32
		企業を取り巻くリスク Q10被害の内容(時系列比較)	33
		企業を取り巻くリスク Q11具体的な被害内容	34
		企業を取り巻くリスク Q12被害額	35
		企業を取り巻くリスク Q13被害に遭った際の考え	39
		企業を取り巻くリスク Q14被害に遭った企業の意識	42
		企業を取り巻くリスク Q15損害保険でカバーしたいリスク(時系列比較)	43
		企業向け損害保険 Q16損害保険に対する意識	44
		企業向け損害保険 Q17認知状況	46
		企業向け損害保険 Q18関心度	48
		企業向け損害保険 Q19加入状況	50
		企業向け損害保険 Q20加入のきっかけ	51
		企業向け損害保険 Q21損害保険によって被害や損害を軽減できたリスク	53
		企業向け損害保険 Q22損害保険によって被害や損害を軽減できなかった理由	55
		企業向け損害保険 Q23被害や損害を軽減できた具体的な被害内容	56
		企業向け損害保険 Q24非加入理由	57
		企業向け損害保険 Q25加入意向	59
		企業向け損害保険 Q26情報接点	61
		企業向け損害保険 Q27選択時に重視すること	62
		企業向け損害保険 Q28期待すること	63
		企業向け損害保険 Q29サイバー攻撃に対する対策	64

1. 調査概要

1. 調査概要

(1) 調査目的

中小企業の自社を取り巻くリスクに対する対応力、および損保業界の対応力（商品開発力の向上・市場ニーズの把握）の強化に向けた対応策を検討するにあたり、次の点を把握する。

- ・中小企業における自社を取り巻くリスクの認識状況
- ・中小企業におけるリスクへの対策状況
- ・中小企業において損害保険が十分に浸透しない真因
- ・中小企業への有効な情報提供方法

(2) 実施状況

■調査実施日:2023年9月8日(金)~11日(月)

■調査方法 :インターネット調査

■調査対象 :中小企業の経営者および従業員

<条件>損害保険契約関係者(決定権あり/選定関与)

■サンプル数:1,031サンプル

1. 調査概要

(3) 基本属性

n	年齢								平均	居住地							
	25才以下	30才以下	35才以下	40才以下	45才以下	50才以下	55才以下	60才以上		北海道	東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州地方
1,031	0.2	1.1	1.3	3.9	10.0	18.8	25.2	39.6	55.9	5.2	5.8	36.2	18.9	18.1	5.1	2.8	7.8

n	職業			業種								業種 (詳細)										
	経営者・役員	会社員(事務)	会社員(技術)	会社員(その他)	自営業	自由業	その他	製造業・その他	卸売業	小売業	サービス業	農・林・水産	金融	建設	不動産	製造	卸売	小売	運輸	サービス	その他	働いていない
1,031	30.2	13.8	4.3	6.7	38.0	5.9	1.2	40.0	10.0	15.0	35.0	1.6	2.4	8.0	10.0	8.5	10.0	15.0	2.1	35.0	7.3	-

n	職種						役職						従業員数									
	経営企画	経理・財務	人事・総務	マーケティング	情報システム	営業	生産管理	製造	物流	その他	経営者・役員	部長クラス	次長・課長クラス	係長クラス	その他管理職	それ以外	5人以下	6人以上以下	10人以上以下	11人以上以下	31人以上以下	51人以上以下
1,031	40.4	18.8	11.9	4.2	6.1	24.8	4.3	6.1	3.0	16.8	63.8	9.2	5.1	3.6	1.6	16.6	64.6	11.3	10.5	4.8	5.8	3.0

n	資本金						年商										損害保険選定関与									
	500万円以下	1,000万円以下	1,500万円以下	2,000万円以下	3,000万円以下	1億円以下	500万円以下	1,000万円以下	1,500万円以下	2,000万円以下	2,500万円以下	3,000万円以下	5億円以下	1億円以下	2億円以下	3億円以下	5億円以下	1億円以下	2億円以下	3億円以下	5億円以下	1億円以下	2億円以下	3億円以下	あり	選定権あり
1,031	50.5	20.0	17.1	5.6	5.0	1.7	56.1	12.2	8.4	3.8	3.9	6.1	3.4	1.0	1.6	1.5	0.3	-	0.1	1.7	74.1	14.5	11.3	-		

2. 主な調査結果

2. 主な調査結果（総括1/2）

- 8割後半(86.4%)の企業が事業活動を行う中で何らかのリスクを認識しており、そのうち76.3%がいずれかのリスクを深刻に受け止めている。(P16,19)
- リスクへの対策として半数以上(52.6%)が「損害保険への加入」を実施していると回答。(P24)
- 「テロ・破壊活動」や「国際情勢」のリスク意識としての深刻度が高まっている。「感染症」「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少」の深刻度も依然高いものの、事業活動を行う中でのリスク認識としては3年間で低下しており、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行等の影響がうかがえる。(P16~P20)
- 「サイバーリスク」を認識している企業のうち、「損害保険への加入」によって対策している企業は、3年間で6.6pt上昇。(P26)
サイバー保険の認知度も3年間で10.3pt上昇しており、サイバー保険の普及が進んでいる状況がうかがえる。また、サイバー保険への加入のきっかけは、「年々リスクが複雑化していると思うから」との回答が最も多い。(P47,51)
- 企業向け損害保険への加入意向は、「サイバー保険」が「情報漏えい賠償責任保険」と同率でトップ。(P59)
- 企業向け損害保険に対する意識としては、「近年リスクが増えていると思う」が最も高い。また、「経営責任として、保険加入が必要だと思う」といった回答も高く、増加するリスクへの対策に加え、経営責任としての保険加入の重要性がうかがえる。(P44)

2. 主な調査結果（総括2/2）

- 「サイバーリスク」「情報の漏洩」による実際の被害額については、「1億円以上」と非常に高額なケースが存在。
(P35)
一方、それらのリスク対策として「損害保険への加入」をしていると回答したのは30.0%未満と低く、「リスクに対する備えが不足していたと思う」「被害額がこんなにも大きくなると思っていなかった」との声も多い。リスクを正しく理解し、万が一の被害に備えることが重要と考える。(P24,41)
- 「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少」による被害額は他のリスクに比べて高い。(P35)
また、被害に遭った企業において、当該リスクへの対策として「損害保険への加入」よりも「貯蓄」をしておくべきだったとの回答の方が多い。(P42)
当該リスクへの対策の一つである「取引信用保険」の認知度や加入意向は下位であり、有効な対策であることの周知が進んでいないことが考えられる。(P46,59)
- 「製造物に関する損害賠償」や「勤務中・移動中における損害賠償」は、「損害保険への加入」による対策を講じているという回答が他のリスクと比べて多く、被害に遭った企業においても「損害保険への加入」で対策をしておくべきという回答が多い。
これらのリスクについては、損害保険による備えの重要性が認識されていると考える。(P24,42)

2. 主な調査結果（トピックス ①リスク意識）

- 事業活動を行っていく上で考えられるリスクとして、8割後半(86.4%)の企業が何らかのリスクを認識している。また、そのうち76.3%がいずれかのリスクを深刻に受け止めている。(P16~20)
- 認識しているリスクとして「自然災害」「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少」が多く挙げられた。(P16)
- 直近2~3年で増えてきたと思うリスクとしては、「自然災害」「感染症」「経済環境リスク」が高い。ただし、「感染症」については2022年調査から10.6pt低下している。(P16~18)
- 何かしらのリスクを感じている企業の8割半(84.6%)が、経営課題として関心があると回答。リスク別でみると、「経済環境リスク」への関心度が最も高く、「国際情勢」「知的財産権侵害リスク」「サイバーリスク」「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少」「情報の漏洩」と続く。(P22)
- リスクへの対策として半数以上(52.6%)が「損害保険への加入」を実施している一方で、約3割(29.1%)が「特に対策／対処をしていない」と回答。(P24~25)
- リスクを感じながら対策をしていない理由は、「対策をする費用に余裕がない」(33.0%)、「具体的な対策方法がわからない」(25.7%)、「リスクによって生じる影響・損失がわからない」(22.6%)がトップ3。

2. 主な調査結果（トピックス ②被害状況）

- 全体のおよそ3割(27.9%)が、勤め先の企業が何らかのリスクにより実際に被害を受けたことがある。また、全体の40.8%が、周囲で何らかの被害を受けたという話を見聞きしたことがあると回答。リスクは身近に潜んでおり、実際に被害を受ける可能性もあることがわかる。(P32)
- 実際の被害額は、全体の25.0%が「100万円未満」と回答。「1億円以上」と非常に高額なケースが2.8%存在。(P35)
- 想定被害額と実際の被害額の差をみると、想定被害額よりも、実際の被害額の方が「100万円未満」「100万円～200万円未満」の比率が高くなっており、想定と実被害額にはギャップがあることがわかる。
※リスクへの対策として保険に加入している企業は、実際の被害額が1000万円以上(24.0%)、1億円以上(4.8%)であるのに対して、想定被害額1000万円以上(43.8%)、1億円以上(11.4%)と高く見積もっており、リスク意識の高さがうかがえる。(P37～38)
- 被害に遭った際の考えについては、「何かしらのリスクが発生するのはしょうがないと思う」(62.5%)が最多。以下、「リスクに対する備えが不足していたと思う」(55.6%)、「被害額がこんなにも高くなると思っていなかった」(50.3%)、「社内体制を整えられていなかった」(40.3%)が続く。(P39)
- 実際に被害に遭った企業の半数(46.2%)が、取っておくべき対策として「損害保険への加入」と回答。リスクへの対策として最も高く、リスク別にみると、特に「製造物に関する損害賠償」「勤務中や移動中における損害賠償」に対する回答率が高い。(P42)
- 損害保険でカバーしたいリスクは、「自然災害」が42.3%で最も高い。以下、「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少」(22.3%)、「勤務中や移動中における損害賠償」(22.0%)、「感染症」(20.4%)と続く。(P43)
- 企業向け損害保険に対する意識としては、「近年リスクが増えていると思う」(63.3%)が最も高い。以下、「経営責任として、保険加入が必要だと思う」などの回答も5割後半で続いており、増加するリスクへの対策に加え、経営責任としての保険加入の重要性がうかがえる。(P44)

2. 主な調査結果（トピックス ③損害保険加入状況および意識）

- 「火災保険」「傷害保険」「地震危険補償特約」「休業補償保険」は認知率が7割後半以上と高い。一方で、認知率が半数以下、内容理解率が1割程度にとどまる保険も多い。(P46)
- 3年間で「サイバー保険」の認知率が10.3pt増加。(p47)
「サイバー保険」の加入のきっかけは「年々リスクが複雑化していると思うから」(38.8%)が最多。(p51)
- 企業向けの損害保険への加入率は、「火災保険」が69.4%で最多。
以下、「地震危険補償特約」(37.0%)、「傷害保険」(34.7%)と続く。(P50)
- 保険加入のきっかけは、「保険代理店から提案があったから」(24.9%)、
「保険会社から提案があったから」(24.7%)、「年々リスクが複雑化していると思うから」(23.9%)がトップ3。
「知的財産賠償責任保険」は「周囲の企業が被害に遭ったから」、「情報漏えい賠償責任保険」は「ニュース等で様々な事件、被害状況が取り上げられているから」のスコアが他の保険に比べて高い。(P51)
- 企業向け損害保険の非加入理由は、全体では「リスクが発生する可能性は低いと考えているため」が最多。
以下、「対策をする費用に余裕がないため」「リスクによって生じる影響・損失が分からないため」が続く。
リスクが発生する可能性や被害を受けた場合の影響が不透明なリスクに対しては、費用をかけづらいことがうかがえる。(P57)
- 企業向け損害保険への加入意向は、「情報漏えい賠償責任保険」「サイバー保険」が最も高く、
「業務災害補償保険(労働災害総合保険)」「地震危険補償特約」が続く。
一方、ほとんどの保険において「どちらともいえない」という回答が全体の4割程度を占めている。(P59)

2. 主な調査結果（トピックス ④情報接点）

- 企業を取り巻くリスクに関する情報源は「テレビCM・テレビ番組」が突出。以下「インターネットニュース」「新聞や雑誌の記事・広告」「保険会社や代理店からの提案」「同業者間の情報交換」が続く。
法人向け損害保険を最終決定するフェーズでは「保険会社や代理店からの提案」がトップ。(P61)
- 企業向け損害保険選択時に重視する点は、「保険料が安いこと」(45.9%)が最多。
以下、「補償が充実していること」(36.1%)、
「補償内容(約款、証券等)の分かりやすさ」(29.8%)が続く。(P62)
- 企業向け損害保険に期待することは「保険でのリスク対策のアドバイス」「定期的な保険の最適化」という回答が多い。以下、「保険加入による節税対策の説明」「会社に関わる可能性がありそうなリスクの呈示」が続く。
(P63)

2. 主な調査結果（トピックス ⑤3カ年推移1/2）

- 「感染症」や「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少」のリスク意識は2年連続で低下。
2021年調査と比較すると10pt以上低下している。一方、「経済環境リスク」が2022年から4.1pt増加している。(P17)
- リスク全体の深刻度は3年間とも7割後半台(77.5%→79.1%→76.3%と推移)。
リスク別でみると、「テロ・破壊活動」は3年間で30pt近く増加している(37.8%→49.2%→65.2%と推移)。
「国際情勢」が2022年と比べて7.1pt増加。
一方、「感染症」は76.0%→64.9%と2022年から10pt以上低下した。(P20)
- 損害保険でカバーしたいリスクにおいても「感染症」は低下傾向。2021年と比較して6.8pt低下している。(P43)
- リスクへの対策状況では、2021年から「貯蓄」が8.3pt、「損害保険への加入」が6.8pt増加。
リスク別では、3年間で「法令順守違反」「サイバーリスク」「勤務中や移動中における損害賠償」
「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少」の対策状況として、「損害保険への加入」が増加している。
一方、「特に対策／対処をしていない」は、2022年からほぼ横ばいの29.1%。2021年からは7.5pt減少。(P25~26)
- 被害の発生率は、27.9%で3年間ほぼ同率。
具体的な被害内容は、「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少」が2年連続で低下(-12.1pt)。
一方、「経済環境リスク」は2022年から9.7pt増加。(P32~33)
- 被害額は、2021年と比較すると「100万未満」が増加。(P36)
- 被害に遭った際の考えとしては、「リスクに対する備えが不足していたと思う」が増加傾向。(P40)
- リスクや損害保険に関する考え方は、この1年間で「保険に加入していることで、安心して事業を行うことができる」
「保険に加入していることで、取引先に対して安心感を示すことができると思う」のスコアが4.4pt減少。
一方で「発生するかわからないリスクに対して保険をかけるのがもったいない」のスコアが4.7pt増加している。(P45)

2. 主な調査結果（トピックス ⑤3カ年推移2/2）

- 企業向け損害保険の認知率は、3年間で「サイバー保険」が10.3pt、「傷害保険」が5.8pt増加した。（P47）
- 企業向け損害保険の加入状況は、3年間とも「火災保険」が最多で、「地震危険補償特約」「傷害保険」と続く。いずれの保険の加入状況も、3年間で顕著な変化はない。（P50）
- 企業向け損害保険の非加入理由は「リスクが発生する可能性は低いと考えているため」「リスクによって生じる影響・損失がわからないため」「他に優先順位が高い経営課題があるため」等が年々増加している。（P58）
- 企業向け損害保険への加入意向は、2022年調査と比べると「情報漏えい賠償責任保険」が4.5pt、「火災保険」が4.0pt増加しているが、いずれも2021年からは横ばい。一方で「傷害保険」は2022年と比べると4.1pt低下し、2021年から減少傾向。（P60）

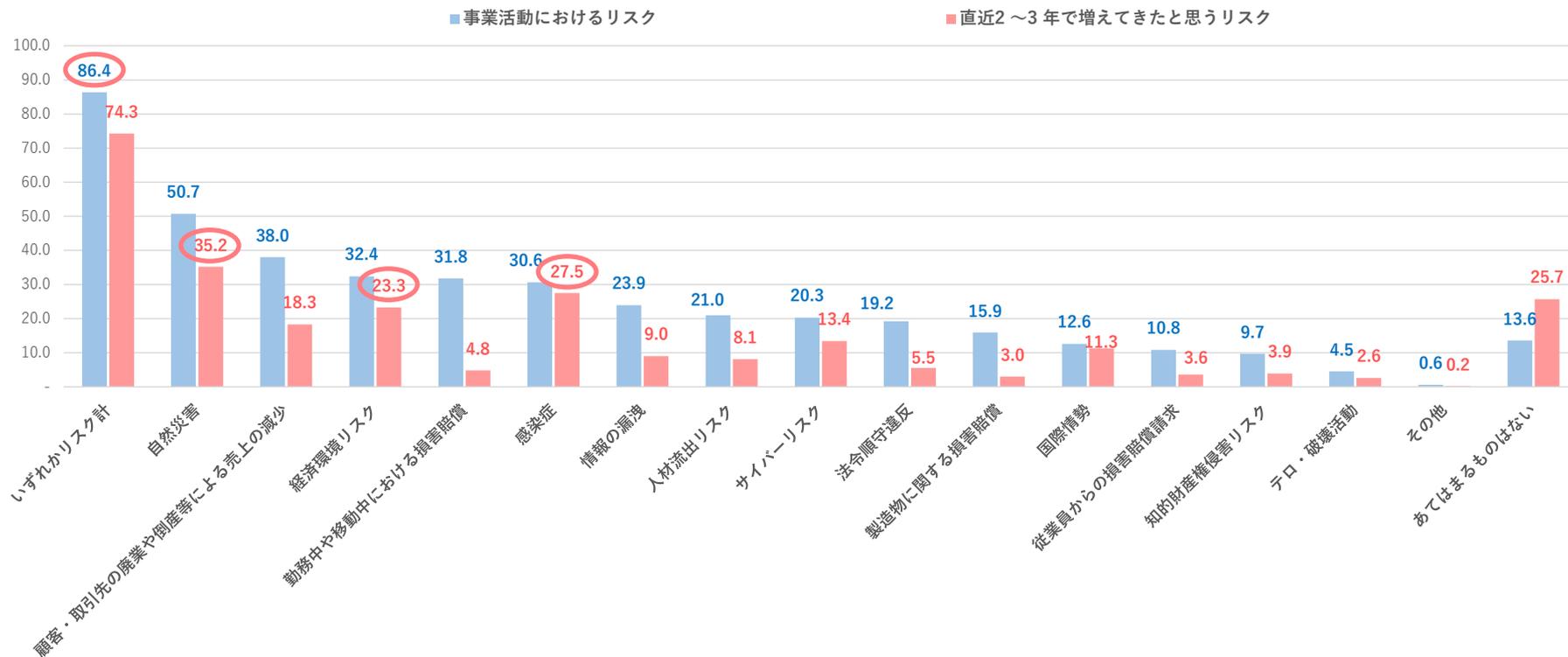
3. 調査結果詳細

3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q1認知状況 ①

- 事業活動を行っていく上で考えられるリスクとして、8割後半(86.4%)の企業が何らかのリスクを認識している。中でも「自然災害」「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少」が多く挙げられた。
- 直近2～3年で増えたリスクとしては、「自然災害」「感染症」「経済環境リスク」が高い。

Q1. お勤めの企業が、事業活動を行っていく上で、考えられるリスク(危険)はどのようなものがありますか。以下の中からあてはまるものをすべてお知らせください。

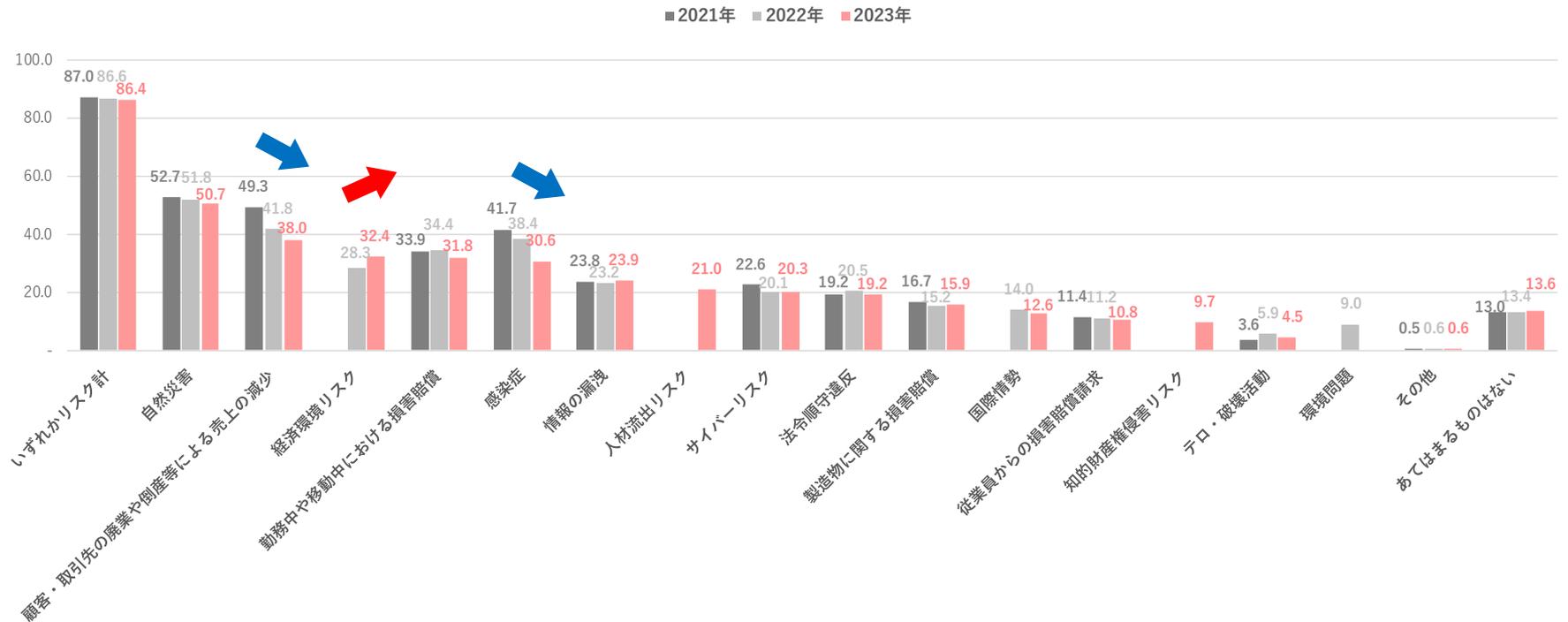
※回答対象:全体(n=1,031)



3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q1認知状況 ②時系列比較

- 2022年調査と比較すると、「経済環境リスク」が4.1pt増加している。
- 2021年と比較すると「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少」が11.3pt、「感染症」が11.1pt低下している。

Q1. お勤めの企業が、事業活動を行っていく上で、考えられるリスク(危険)はどのようなものがありますか。以下の中からあてはまるものをすべてお知らせください。
 ※回答対象:全体(n=1,031)

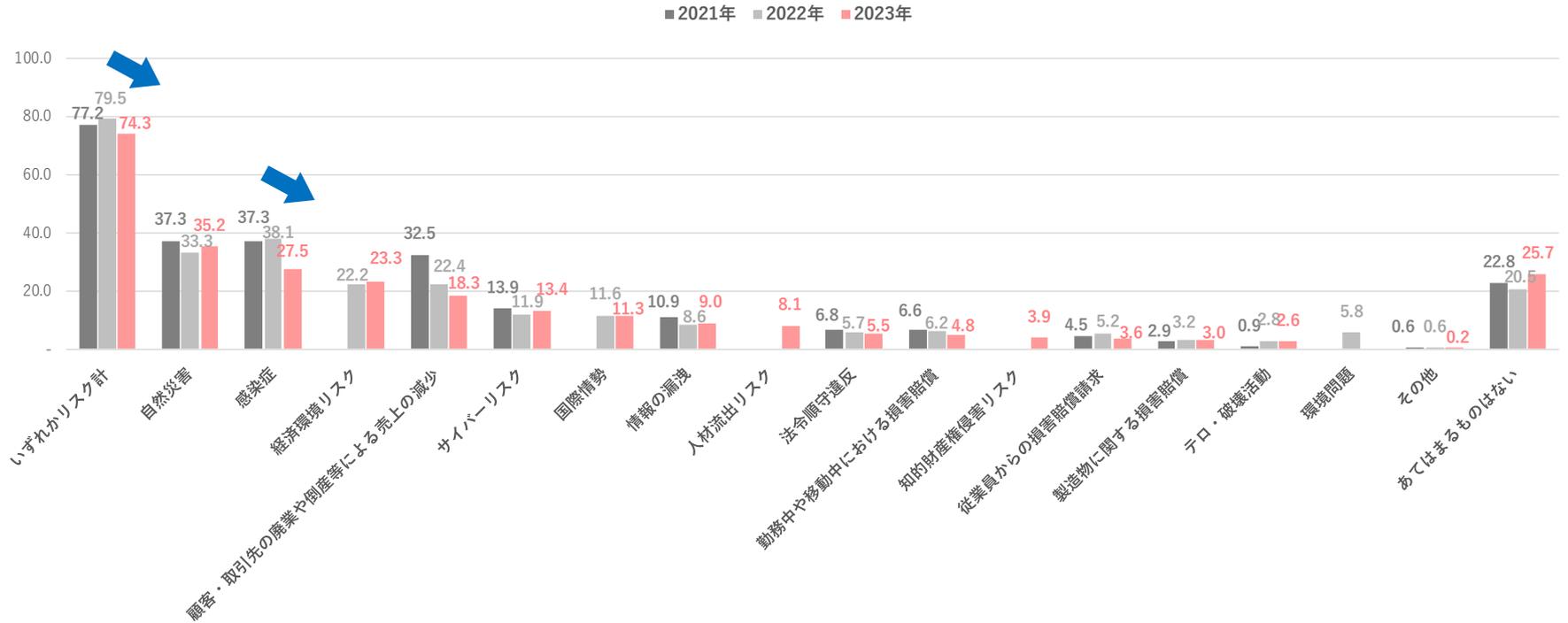


※2023年のポイントで降順
 ※スコアがないものは未聴取

3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q1認知状況 ③直近2～3年で増えてきたリスク 時系列比較

- 過去調査(2021年・2022年)と比較すると「いずれかリスク計」はやや低下。
- リスク別では「感染症」が、2022年と比較して大きく低下(-10.6%)している。

Q1. お勤めの企業が、事業活動を行っていく上で、考えられるリスク(危険)はどのようなものがありますか。以下の中からあてはまるものをすべてお知らせください。
 ※回答対象:全体(n=1,031)



※2023年のポイントで降順
 ※スコアがないものは未聴取

3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q2深刻度 ①

- 何かしらのリスクを感じている企業のおよそ7割後半が、リスクを深刻に受け止めている。(※深刻である計:76.3%)
- リスク別でみると「経済環境リスク」の深刻度が84.7%で最も高い。
以下「国際情勢」が8割、「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少」「テロ・破壊活動」が6割後半で続く。

Q2. お勤めの企業をとりまくリスク(危険)に関して、どの程度深刻な問題ととらえていますか。

※回答対象:いずれかリスクあり(n=891)

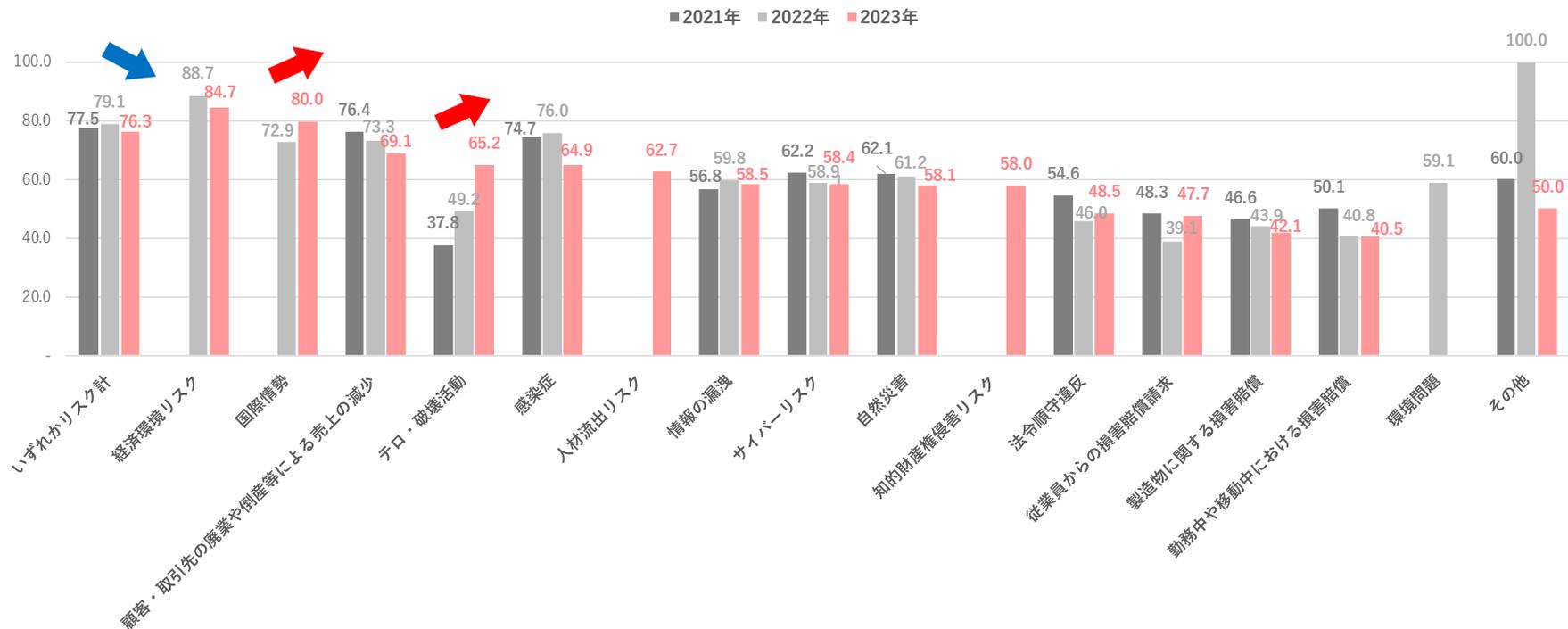
	n	深刻度					深刻である計 (%)
		■とても深刻である	■やや深刻である	□どちらともいえない	□あまり深刻ではない	■全く深刻ではない	
全体	891	33.4	42.9	18.1	4.8	0.8	76.3
リスク	経済環境リスク	37.4	47.3	12.9	2.1	0.3	84.7
	国際情勢	26.9	53.1	14.6	5.4		80.0
	顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少	23.7	45.4	24.2	6.1	0.5	69.1
	テロ・破壊活動	26.1	39.1	28.3	6.5		65.2
	感染症	24.7	40.2	25.0	9.5	0.6	64.9
	人材流出リスク	21.7	41.0	26.3	9.7	1.4	62.7
	情報の漏洩	19.1	39.4	31.3	8.5	1.6	58.5
	サイバーリスク	19.1	39.2	33.5	7.2	1.0	58.4
	自然災害	15.1	43.0	30.8	10.1	1.0	58.1
	知的財産権侵害リスク	19.0	39.0	30.0	9.0	3.0	58.0
	法令順守違反	12.6	35.9	34.3	15.7	1.5	48.5
	従業員からの損害賠償請求	14.4	33.3	37.8	12.6	1.8	47.7
	製造物に関する損害賠償	13.4	28.7	39.6	16.5	1.8	42.1
	勤務中や移動中における損害賠償	7.9	32.6	40.5	16.8	2.1	40.5
	その他	6	33.3	16.7	33.3	16.7	

3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q2深刻度 ②時系列比較(TOP2BOX)

- 2022年調査と比較すると、リスク全体の深刻度は79.1%→76.3%と微減。
- リスク別でみると、「テロ・破壊活動」の深刻度が16.0pt増加。2021年との比較では30pt近く(27.4pt)増加している。
- また、「国際情勢」が2022年と比べて、7.1pt増加。

Q2. お勤めの企業をとりまくリスク(危険)に関して、どの程度深刻な問題ととらえていますか。

※回答対象:いずれかリスクあり(n=891)



3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q3各リスクの被害額の想定

- 何らかのリスクを想定している企業の想定被害額の中央値は558万円。
「100万円未満」が23.0%と最も高く、次いで「500万円～1000万円未満」「300万円～500万円未満」が高くなっている。
- リスク別でみると、「国際情勢」「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少」「人材流出リスク」「テロ・破壊活動」は、中央値が400万円以上と想定被害額が高い。

Q3. お勤めの企業をとりまくリスク(危険)に関して、どの程度の被害額が発生するとお考えですか。

おおよその金額で構いませんので、お知らせください。

※回答対象: いずれかリスクあり(n=891)

		n	100万円 未満	100万円 ～200万 円未満	200万円 ～300万 円未満	300万円 ～500万 円未満	500万円 ～1000 万円未満	1000万 円～ 2000万 円未満	2000万 円～ 3000万 円未満	3000万 円～ 5000万 円未満	5000万 円～1億 円未満	1億円以 上 (%)	中央値 (万円)
全体		891	23.0	10.9	11.0	11.3	12.9	10.0	5.7	2.7	4.8	7.6	558
リ ス ク	自然災害	523	30.0	10.9	9.9	10.5	12.6	8.4	4.4	3.4	4.0	5.7	387
	国際情勢	130	27.7	12.3	4.6	13.8	12.3	6.2	8.5	5.4	3.1	6.2	536
	法令順守違反	198	41.9	14.6	7.6	8.6	7.6	8.6	1.0	1.0	4.0	5.1	205
	サイバーリスク	209	40.2	9.1	8.1	12.9	12.0	4.8	4.3	2.9	0.5	5.3	263
	テロ・破壊活動	46	30.4	15.2	4.3	19.6	8.7	8.7	2.2	-	4.3	6.5	400
	経済環境リスク	334	26.6	15.9	11.1	12.3	11.7	7.8	6.0	2.1	2.4	4.2	351
	顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少	392	23.2	13.5	12.2	13.5	14.0	8.9	5.1	2.3	3.3	3.8	426
	情報の漏洩	246	39.0	10.6	9.8	10.2	11.0	4.9	4.9	1.6	2.8	5.3	256
	製造物に関する損害賠償	164	33.5	11.0	7.3	10.4	12.8	10.4	2.4	3.0	1.8	7.3	363
	従業員からの損害賠償請求	111	32.4	15.3	13.5	9.0	12.6	8.1	1.8	1.8	2.7	2.7	275
	勤務中や移動中における損害賠償	328	42.1	14.3	12.5	10.1	7.9	3.4	1.8	2.4	3.0	2.4	205
	感染症	316	53.5	14.9	6.3	8.5	7.6	3.2	0.9	1.9	1.6	1.6	143
	知的財産権侵害リスク	100	35.0	10.0	12.0	10.0	11.0	6.0	6.0	2.0	1.0	7.0	313
	人材流出リスク	217	27.2	12.0	10.1	10.1	20.7	9.2	3.7	3.2	2.8	0.9	424
その他	6	33.3	16.7	16.7	-	-	16.7	-	-	-	16.7	250	

■:1位、■:2位、■:3位

3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q4経営課題としての関心度 ①

- 何かしらのリスクを感じている企業のおよそ8割半が、経営課題として関心があると回答。(※関心がある計:84.6%)
- リスク別でみると、「経済環境リスク」への関心度が最も高い。
以下、「国際情勢」「知的財産権侵害リスク」「サイバーリスク」
「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少」「情報の漏洩」と続く。

Q4. お勤めの企業をとりまくリスク(危険)に関して、どの程度経営課題として関心をお持ちですか。

※回答対象:いずれかリスクあり(n=891)

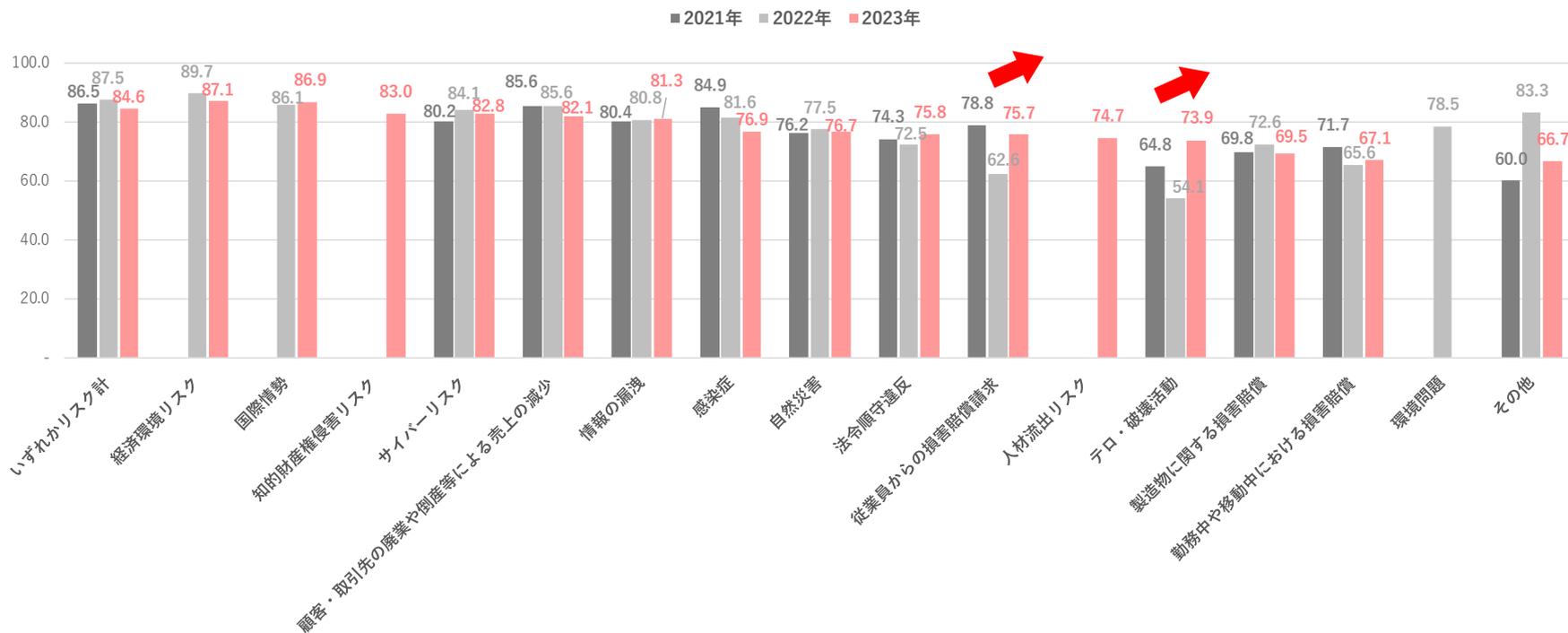
	n	関心度					関心がある計 (%)
		■ とても関心がある	■ やや関心がある	□ どちらともいえない	□ あまり関心がない	□ 全く関心がない	
全体	891	43.1	41.5	11.8	2.9	0.7	84.6
経済環境リスク	334	42.5	44.6	8.7	4.2		87.1
国際情勢	130	38.5	48.5	10.8	2.3		86.9
知的財産権侵害リスク	100	32.0	51.0	12.0	5.0		83.0
サイバーリスク	209	30.6	52.2	15.8	1.4		82.8
顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少	392	38.3	43.9	15.8	1.8	0.3	82.1
情報の漏洩	246	32.9	48.4	14.6	3.7	0.4	81.3
感染症	316	30.4	46.5	18.7	3.5	0.9	76.9
自然災害	523	25.4	51.2	17.2	5.5	0.6	76.7
法令順守違反	198	21.2	54.5	21.2	3.0		75.8
従業員からの損害賠償請求	111	21.6	54.1	20.7	2.7	0.9	75.7
人材流出リスク	217	30.4	44.2	22.6	2.8		74.7
テロ・破壊活動	46	28.3	45.7	19.6	4.3	2.2	73.9
製造物に関する損害賠償	164	23.2	46.3	21.3	8.5	0.6	69.5
勤務中や移動中における損害賠償	328	18.0	49.1	26.8	5.5	0.6	67.1
その他	6	50.0	16.7	16.7	16.7		66.7

3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q4経営課題としての関心度 ②時系列比較

- 2022年調査と比較すると、「テロ・破壊活動」の関心度が19.8pt増加した。

Q4. お勤めの企業をとりまくリスク(危険)に関して、どの程度経営課題として関心をお持ちですか。

※回答対象:いずれかリスクあり(n=891)



※2023年のポイントで降順
※スコアがないものは未聴取

3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q5リスク別対策状況 ①

- リスクへの対策として「損害保険への加入」が最も高く、52.6%。次いで「貯蓄」「補助金等の活用」が高い。
- 「損害保険への加入」率が高いリスクは、「勤務中や移動中における損害賠償」(66.5%)、「製造物に関する損害賠償」(59.8%)、「自然災害」(53.9%)がトップ3。

Q5. お勤めの企業をとりまくリスク(危険)に関して、何かしら対策/対処をしていますか。

※回答対象:いずれかリスクあり(n=891)

	n	損害保険への加入	貯蓄	補助金等の活用	共済への加入	保険以外の金融商品	BCP/事業継続力強化計画の申請/認定取得	その他	特に対策/対処をしていない (%)	
全体	891	52.6	27.8	20.7	16.9	9.4	8.4	3.3	29.1	
リスク	自然災害	523	53.9	18.2	11.1	12.8	3.6	3.1	0.6	30.6
	国際情勢	130	20.8	23.1	12.3	9.2	6.2	6.2	3.1	56.2
	法令順守違反	198	26.3	18.2	7.1	9.6	5.1	7.6	-	54.0
	サイバーリスク	209	26.3	13.9	9.6	5.7	7.2	8.6	4.8	51.2
	テロ・破壊活動	46	26.1	21.7	17.4	13.0	17.4	15.2	6.5	45.7
	経済環境リスク	334	8.7	27.5	19.2	6.3	6.0	4.8	0.3	54.2
	顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少	392	15.6	23.5	11.5	11.2	5.9	4.8	1.5	53.3
	情報の漏洩	246	23.2	15.9	6.1	10.2	6.9	8.1	3.3	55.3
	製造物に関する損害賠償	164	59.8	12.2	8.5	14.0	4.9	7.3	-	29.3
	従業員からの損害賠償請求	111	35.1	18.9	9.9	9.9	8.1	12.6	2.7	43.2
	勤務中や移動中における損害賠償	328	66.5	12.8	6.7	15.2	7.0	3.0	-	22.6
	感染症	316	19.3	19.0	19.0	8.2	5.1	6.6	2.5	50.0
	知的財産権侵害リスク	100	20.0	20.0	12.0	10.0	6.0	16.0	-	55.0
	人材流出リスク	217	17.5	21.2	8.8	10.6	5.1	6.9	0.5	56.7
	その他	6	-	16.7	-	-	-	-	16.7	66.7

■:1位、■:2位、■:3位

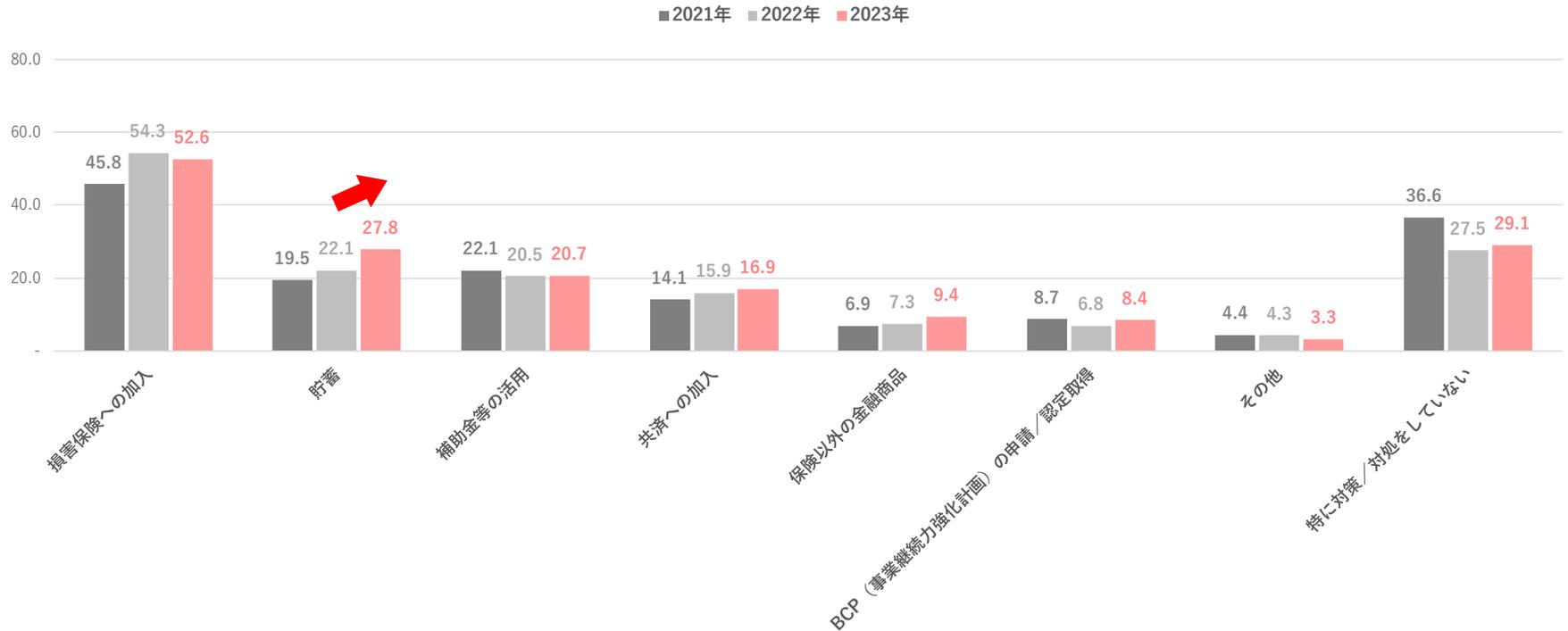
※全体のポイントで降順

3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q5リスク別対策状況 ②時系列比較

- 2021年調査、2022年調査に引き続き、「損害保険への加入」が最多。
- 「貯蓄」は22.1%→27.8%と2022年と比べて5.7pt増加。
- 「特に対策／対処をしていない」は2022年からほぼ横ばいの29.1%。2021年からは7.5pt減少。

Q5. お勤めの企業をとりまくリスク(危険)に関して、何かしら対策／対処をしていますか。

※回答対象:いずれかリスクあり(n=891)



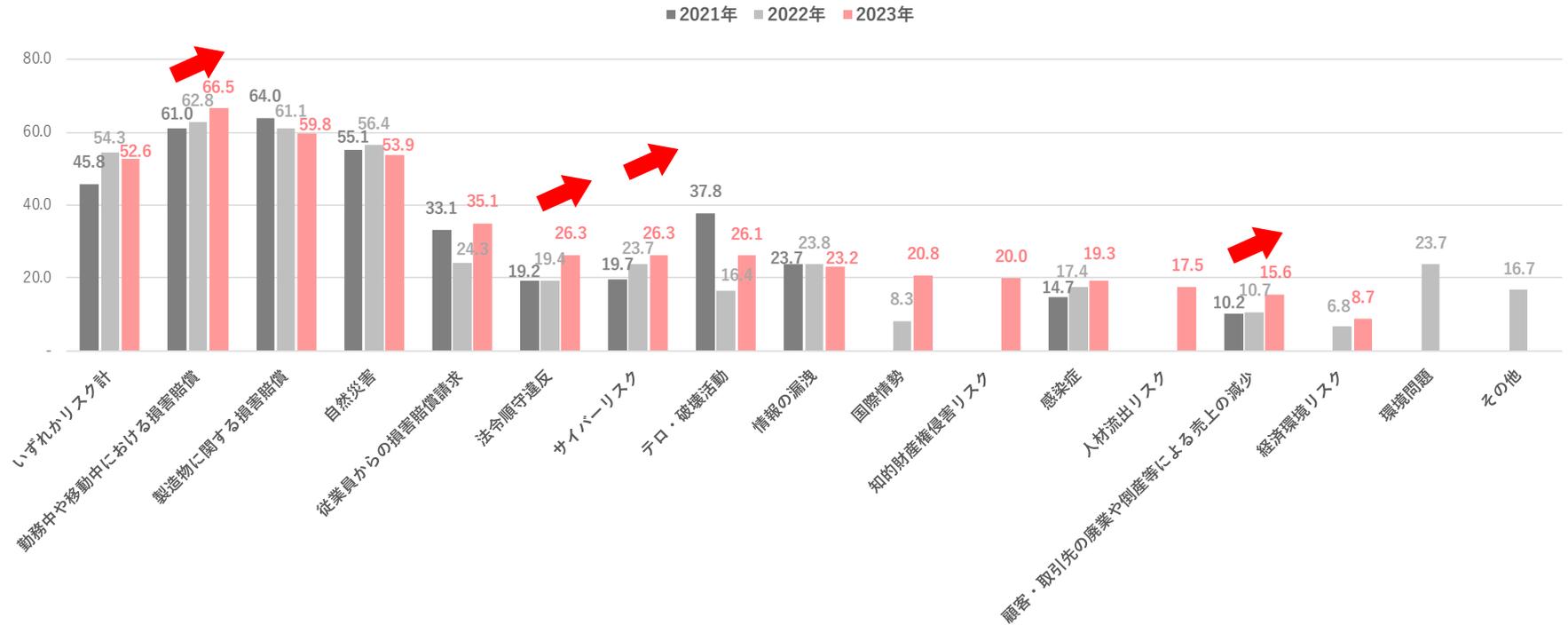
3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q5リスク別対策状況 ③「損害保険への加入」時系列比較

※リスク対策として「損害保険への加入」をしていると回答した結果をリスク別に時系列比較したもの

- 2021年調査と比較すると「勤務中や移動中における損害賠償」「法令順守違反」「サイバーリスク」「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少」が増加。

Q5. お勤めの企業をとりまくリスク(危険)に関して、何かしら対策/対処をしていますか。

※回答対象:いずれかリスクあり(n=891)



※2023年のポイントで降順
※スコアがないものは未聴取

3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q6各リスクへの対応時期

- リスクを感じてから対策をするまでの対応期間は、「リスクを感じてすぐ」との回答が3割と高い。
- 「リスクを感じてすぐ」の回答率は、「感染症」「サイバーリスク」「情報の漏洩」がトップ3。

Q6. お勤めの企業をとりまく以下のリスク(危険)に関して、何らかの対策/対処をしているとのことですが、リスク(危険)を感じてから、どれくらいの期間で対策/対処をし始めましたか。

※回答対象:各リスクへ対策・対処をしている(n=632)

	n	■ リスクを感じてすぐ	■ 1か月以内	■ 半年以内	■ 1年以内	■ 3年以内	■ 5年以内	■ 10年以内	■ 10年以上	■ リスクを感じる前	■ わからない/覚えていない	(%)
全体	632	31.2	5.9	9.2	7.8	6.3	3.3	2.7	7.8	16.6	9.3	
リスク	自然災害	22.9	3.3	6.3	10.2	4.4	3.6	5.2	12.9	19.0	12.1	
	国際情勢	15.8	8.8	15.8	14.0	12.3	3.5	3.5	1.8	19.3	5.3	
	法令順守違反	19.8	5.5	7.7	11.0	11.0	8.8	2.2	7.7	16.5	9.9	
	サイバーリスク	28.4	3.9	11.8	10.8	9.8	6.9	3.9	4.9	10.8	8.8	
	テロ・破壊活動	24.0	8.0	12.0	16.0	4.0	8.0	12.0	16.0			
	経済環境リスク	18.3	9.2	15.7	15.7	9.2	3.9	3.3	3.3	13.7	7.8	
	顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少	23.5	7.1	12.0	10.4	7.7	4.9	2.2	7.1	16.4	8.7	
	情報の漏洩	28.2	4.5	10.0	10.0	7.3	8.2	4.5	1.8	14.5	10.9	
	製造物に関する損害賠償	25.0	2.6	4.3	6.9	3.4	6.0	7.8	17.2	13.8	12.9	
	従業員からの損害賠償請求	22.2	14.3	11.1	11.1	11.1	7.9	3.2	4.8	6.3	7.9	
	勤務中や移動中における損害賠償	20.9	5.1	3.9	7.1	5.9	3.5	5.1	12.2	20.5	15.7	
	感染症	37.3	7.6	10.1	8.9	16.5	3.8	1.9	6.3	7.6		
	知的財産権侵害リスク	20.0	13.3	13.3	8.9	11.1	2.2	11.1	15.6	4.4		
	人材流出リスク	22.3	9.6	11.7	13.8	3.2	5.3	1.1	7.4	14.9	10.6	
	その他	2	100.0									

3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q7非対策理由 ①

- リスクを感じながら対策をしていない理由は、「対策をする費用に余裕がないため」(33.0%)、「具体的な対策方法がわからないため」(25.7%)、「リスクによって生じる影響・損失が分からないため」(22.6%)がトップ3。
- 「従業員からの損害賠償請求」は「リスクによって生じる影響・損失が分からないため」「リスクが発生する可能性は低いと考えているため」が18.8%で同率トップ。

Q7. お勤めの企業をとりまくリスク(危険)に関して、リスク(危険)を感じていながら特に対策/対処をしていない理由をお知らせください。

※以下に挙げるリスク(危険)について、それぞれあてはまるものをすべてお知らせください。

※回答対象:各リスクへ対策・対処をしていない(n=567)

	n	対策をする費用に余裕がないため	具体的な対策方法がわからないため	リスクによって生じる影響・損失が分からないため	リスクが発生する可能性は低いと考えているため	他に優先順位の高い経営課題があるため	社内や周囲に専門の人材がないため	対策をする時間に余裕がないため	対策をする人手に余裕がないため	対策の必要性について社内の理解が得られず、予算を獲得・確保できないため	その他	特に理由はない (%)	
全体	567	33.0	25.7	22.6	20.5	15.0	11.6	10.8	10.4	4.6	2.1	19.9	
リスク	自然災害	160	33.8	11.3	17.5	15.0	5.6	3.1	7.5	2.5	1.3	2.5	28.8
	国際情勢	73	31.5	24.7	21.9	8.2	12.3	6.8	9.6	5.5	1.4	1.4	16.4
	法令順守違反	107	22.4	16.8	10.3	25.2	15.0	8.4	5.6	7.5	3.7	0.9	26.2
	サイバーリスク	107	30.8	21.5	16.8	12.1	12.1	12.1	10.3	9.3	1.9	-	22.4
	テロ・破壊活動	21	23.8	19.0	9.5	14.3	14.3	9.5	4.8	-	4.8	-	42.9
	経済環境リスク	181	31.5	23.2	18.8	4.4	9.9	6.6	8.3	7.7	2.8	1.1	19.3
	顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少	209	25.4	22.5	13.4	11.5	10.0	5.7	6.7	2.9	5.3	0.5	24.4
	情報の漏洩	136	27.9	25.0	18.4	8.1	8.1	8.1	11.0	8.8	1.5	-	25.7
	製造物に関する損害賠償	48	41.7	18.8	12.5	18.8	10.4	8.3	2.1	8.3	2.1	-	16.7
	従業員からの損害賠償請求	48	8.3	16.7	18.8	18.8	14.6	10.4	4.2	10.4	8.3	-	25.0
	勤務中や移動中における損害賠償	74	32.4	9.5	6.8	10.8	9.5	4.1	5.4	4.1	4.1	-	35.1
	感染症	158	22.2	15.2	20.9	15.2	10.8	4.4	4.4	6.3	3.2	1.3	28.5
	知的財産権侵害リスク	55	32.7	20.0	14.5	14.5	14.5	7.3	10.9	10.9	3.6	1.8	23.6
	人材流出リスク	123	22.0	24.4	11.4	6.5	8.9	9.8	11.4	12.2	8.1	0.8	22.8
その他	4	-	50.0	-	25.0	-	-	25.0	-	-	25.0	25.0	

■:1位、■:2位、■:3位

※全体のポイントで降順

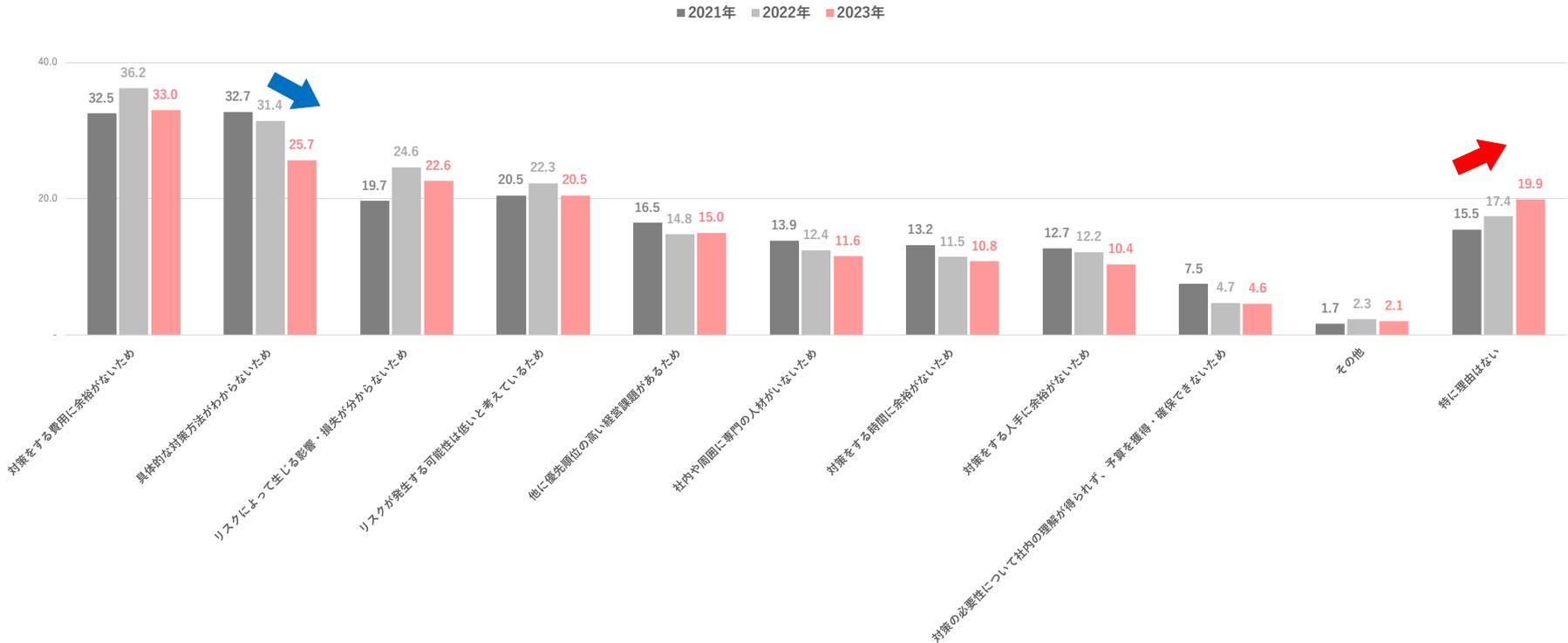
3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q7非対策理由 ②時系列比較

- リスクの非対策理由としては、2022年調査と比べて、多くの項目で低下傾向にある。特に「具体的な対策方法がわからない」が31.4%→25.7%と5.7pt低下。
- 「特に理由はない」が15.5%→19.9%と、3年間で増加傾向にある。

Q7. お勤めの企業をとりまくリスク(危険)に関して、リスク(危険)を感じていながら特に対策/対処をしていない理由をお知らせください。

※以下に挙げるリスク(危険)について、それぞれあてはまるものをすべてお知らせください。

※回答対象:各リスクへ対策・対処をしていない(n=567)



3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q8最近のニュースや出来事 ①

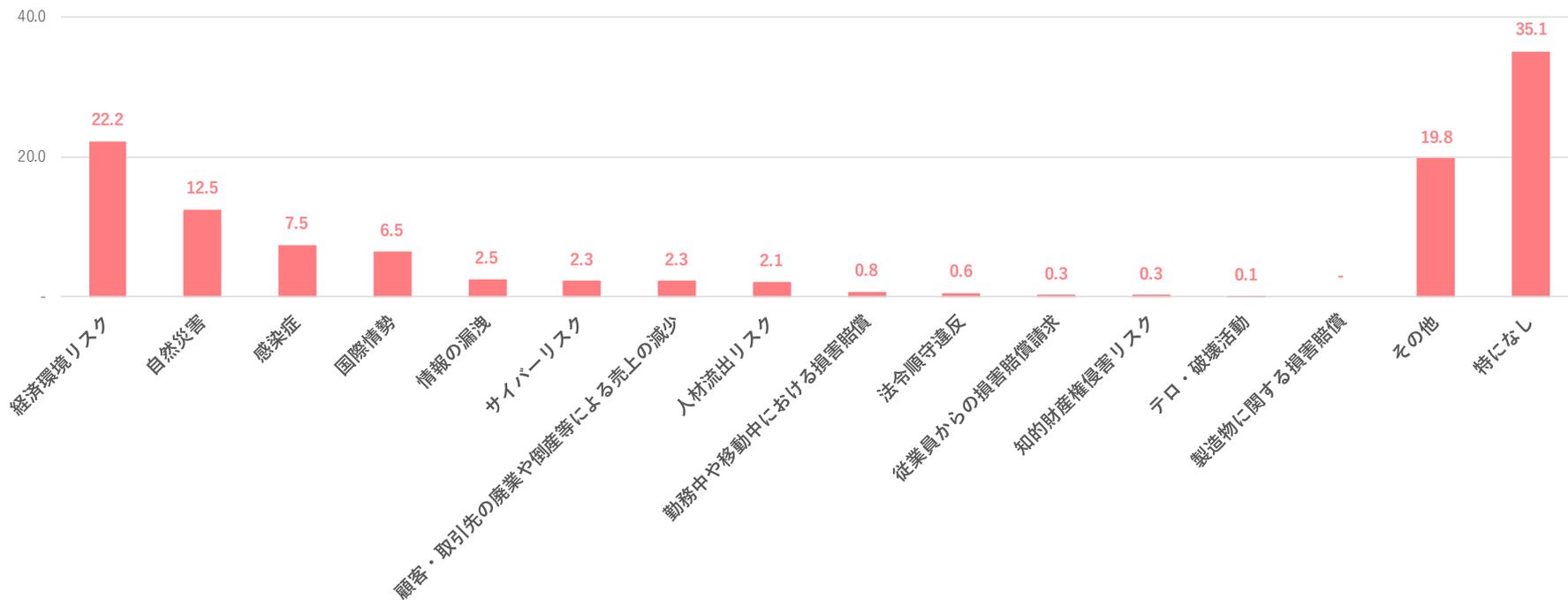
- 最近のニュースや出来事でリスクと感じるものは、「経済環境リスク」が22.2%でトップ。次いで「自然災害」が12.5%、「感染症」が7.5%、「国際情勢」が6.5%で続く。

Q8. 最近のニュースや出来事に関して、あなたは、お勤めの企業をとりまくリスク(危険)と感じるものはありますか。

ニュースの内容やリスクと感じる点など、できるだけ詳しくご記入ください。

※回答対象:全体(n=1,031)

■ 勤め先企業にとってリスクと感じた最近のニュース・出来事



3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q8最近のニュースや出来事 ②FA回答

- 円安による仕入れ価格の上昇や物価高騰などの「経済環境リスク」を感じている人が多い。
次いで、局地的な大雨などの被害、自然現象による建物の破損といった「自然災害」のリスクが挙がる。
- コロナ禍による消費活動への影響がいまだ残り、「感染症」のリスクが挙がる。
- ロシアによるウクライナ侵攻等の「国際情勢」のリスク、「情報漏洩」「サイバーリスク」も上位。

Q8. 最近のニュースや出来事に関して、あなたは、お勤めの企業をとりまくリスク(危険)と感じるものはありますか。

ニュースの内容やリスクと感じる点など、できるだけ詳しくご記入ください。

※回答対象:全体(n=1,031)

経済環境リスク

- ・物価の高騰により買い控えが増えてきている
- ・円安による輸入品の価格高騰
- ・為替の乱高下と円安による仕入れ価格の上昇
- ・政府主導の賃金引上げ
- ・景気変動に伴う仕事の受注減少

自然災害

- ・台風や大雨などの風水害
- ・局地的な大雨などの天災レベルの天候によって被る被害
- ・異常気象による洪水の増加
- ・温暖化で規格外の生産物が増えている
- ・自然現象による建物の破損など

感染症

- ・コロナ禍による消費活動の縮小
- ・コロナ後の人手不足
- ・鳥インフルエンザや豚熱等の家畜伝染病
- ・いまだにコロナ禍から抜け出した印象がないことと、暑さの影響で人通りがなく売上げが上がらない

その他

- 【国際情勢リスク】ロシアのウクライナ侵攻に伴う物流の遅延、停止
- 【情報の漏洩リスク】従業員による情報漏洩
- 【サイバーリスク】国家による日本企業へのサイバー攻撃

3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q9被害の発生有無(自社/他社)

- 全体のおよそ3割(27.9%)が、勤め先の企業が何らかのリスクにより実際に被害を受けたことがあると回答。
- 全体の40.8%が、周囲で何らかの被害を受けたという話を見聞きしたことがあると回答。
- 過去調査でも、自社や周囲が被害に遭ったとの回答が同程度あり、身近な問題であることがわかる。

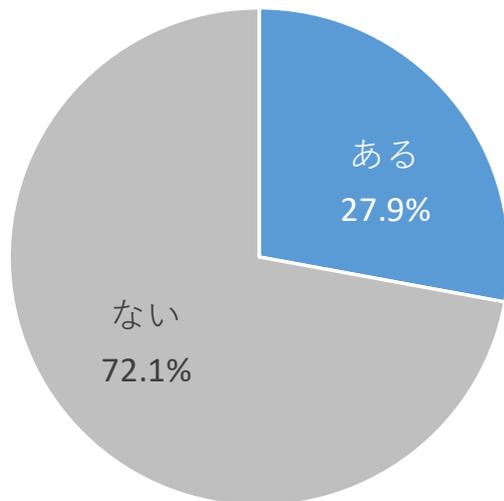
Q9. お勤めの企業では、何らかのリスク(危険)により、実際に被害を被ったことはありますか。

また、周囲で何らかの被害があったという話を見聞きしたことはありますか。

※回答対象:全体(n=1,031)

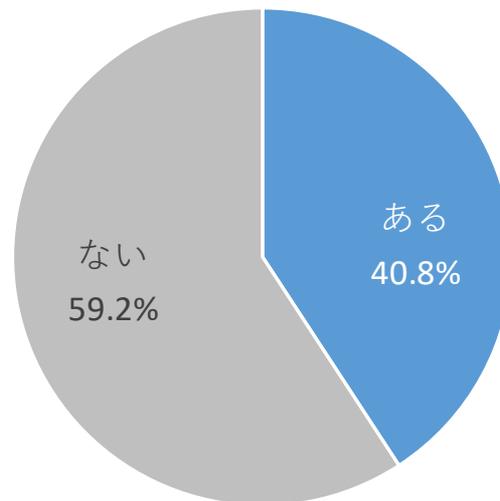
お勤めの企業での被害を被ったことの有無

「ある」と回答した計
2021年調査:27.0%
2022年調査:27.8%
2023年調査:27.9%



周囲で何らかの被害があったという話を見聞きしたことの有無

「ある」と回答した計
2021年調査:40.9%
2022年調査:40.3%
2023年調査:40.8%



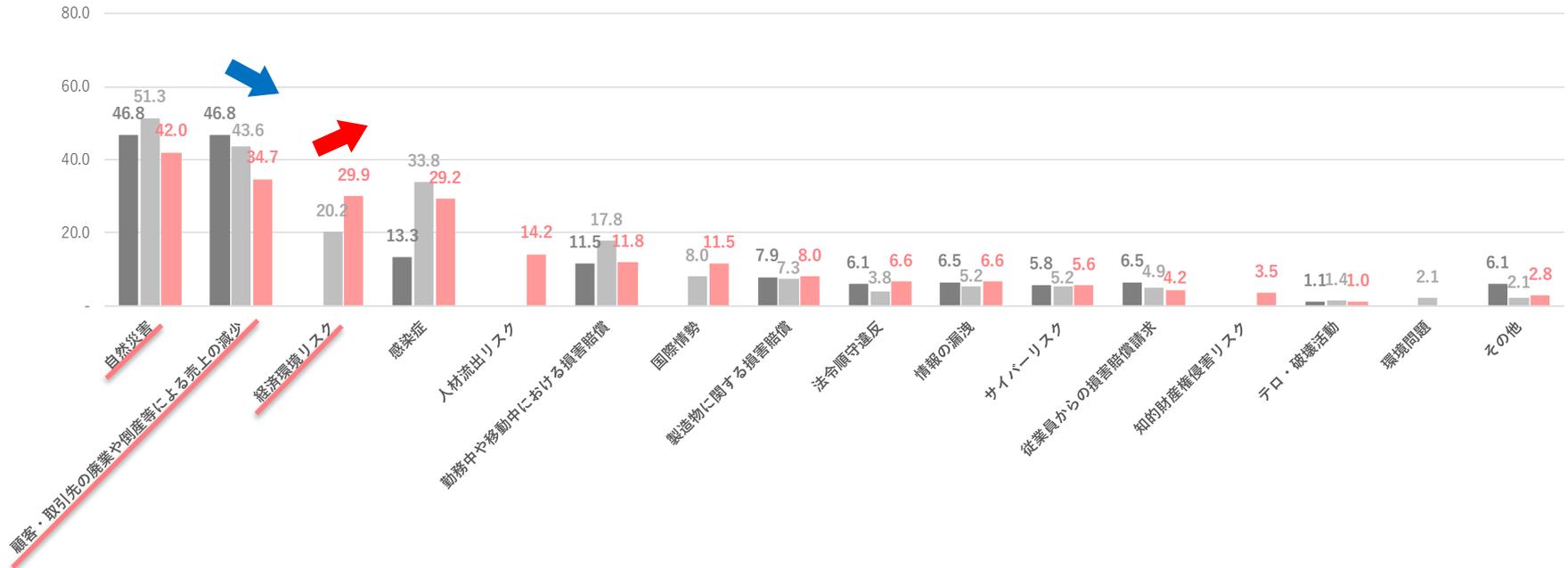
3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q10被害の内容（時系列比較）

- 被害を受けたリスクは「自然災害」が42.0%で最多。次いで「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少」(34.7%)、「経済環境リスク」(29.9%)が続く。
- 2021年調査から「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少」は2年連続で低下。(12.1pt減少)
一方、「経済環境リスク」は増加傾向。(2022年から9.7pt増加)

Q10. お勤めの企業では、具体的にどのようなリスク(危険)により、実際に被害を被りましたか。

※回答対象: リスクによる被害あり(n=288)

■ 2021年 ■ 2022年 ■ 2023年



※2023年のポイントで降順
※スコアがないものは未聴取

3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q11具体的な被害内容

- 自然災害により、自社の建物や電子機器などに被害が出ている。
- 経済環境リスクでは、物価上昇や円安によるコスト上昇の影響を受けている。
- 売上の減少に関しては、取引先の倒産により、売掛金の回収ができない、仕入れができないなどの声が挙がっている。
- 感染症によって、経済活動や事業活動の停止による売上減少や人手不足などの影響が生じている。

Q11. お勤めの企業では、具体的にどのような被害を被りましたか。被害を被ったリスク(危険)について、それぞれお答えください。

※回答対象: リスクによる被害あり(n=288)

自然災害

- ・強風による建物等の破損
- ・震災による社屋の半壊および社用車の損壊
- ・落雷によって生じたサージ電流による電子機器への被害、
風害による壁塗装の剥がれ
- ・雹害で被害を受けた

感染症

- ・政府から発出された緊急事態宣言により大幅売り上げ減少
- ・業界全体の取引が止まってしまい、
しばらく売り上げがほぼゼロになった
- ・対面営業を禁止したため、売上による利益を得られなくなった
- ・取引先企業が発注を停止、縮小した
- ・感染症により一時的に人手不足になった

経済環境リスク

- ・物価上昇、円安による仕入れ価格の上昇
- ・ガソリン高騰、物価高騰による出費増
- ・インフレによるコスト上昇、株価下落による資産の減少
- ・商品価格が高騰し物が売れなくなった
- ・顧客の注文が減った

顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少

- ・掛け金の回収ができなくなった
- ・取引先の廃業や業務縮小、倒産等による売上の減少
- ・取り扱っていた商品が手に入らなくなり売り上げがダウン

その他

- ・サイバーテロでデータが消失した
- ・ハッキングによる被害

3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q12被害額 ①

- 実際の被害額は、全体の2割半が「100万円未満」と回答。
中央値は318万円であるが、「1億円以上」と非常に高額なケースが2.8%存在する。
- 「国際情勢」は、中央値が844万と、他のリスクと比べて被害額が高い。

Q12. お勤めの企業では、何らかのリスク(危険)により、実際に被害を被ったとのことですが、その被害額はいくらくらいでしたか。

おおよその金額で構いませんので、お知らせください。

※回答対象:リスクによる被害あり(n=288)

	n	100万円 未満	100万円 ~200万 円未満	200万円 ~300万 円未満	300万円 ~500万 円未満	500万円 ~1000万 円未満	1000万円 ~2000万 円未満	2000万円 ~3000万 円未満	3000万円 ~5000万 円未満	5000万円 ~1億円 未満	1億円以 上	わから ない (%)	中央値 (万円)
全体	288	25.0	17.7	10.4	9.7	11.1	8.7	3.8	3.8	1.7	2.8	5.2	318
自然災害	121	33.9	19.0	9.9	9.1	10.7	8.3	2.5	3.3	-	0.8	2.5	228
国際情勢	33	27.3	9.1	3.0	6.1	12.1	12.1	12.1	6.1	3.0	3.0	6.1	844
法令順守違反	19	63.2	-	5.3	15.8	5.3	-	-	-	-	5.3	5.3	125
サイバーリスク	16	62.5	6.3	12.5	6.3	-	-	-	-	-	6.3	6.3	125
テロ・破壊活動	3	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	575
経済環境リスク	86	24.4	22.1	12.8	9.3	9.3	5.8	3.5	5.8	2.3	1.2	3.5	270
顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少	100	16.0	16.0	14.0	17.0	11.0	9.0	7.0	3.0	-	1.0	6.0	421
情報の漏洩	19	47.4	10.5	-	10.5	10.5	5.3	-	5.3	-	5.3	5.3	150
製造物に関する損害賠償	23	39.1	21.7	4.3	8.7	-	8.7	-	-	-	8.7	8.7	180
従業員からの損害賠償請求	12	33.3	16.7	8.3	-	25.0	-	-	-	-	8.3	8.3	225
勤務中や移動中における損害賠償	34	55.9	8.8	11.8	5.9	2.9	-	-	2.9	2.9	2.9	5.9	134
感染症	84	38.1	10.7	10.7	10.7	10.7	1.2	1.2	1.2	1.2	4.8	9.5	217
知的財産権侵害リスク	10	10.0	40.0	-	-	20.0	-	-	-	20.0	-	10.0	238
人材流出リスク	41	24.4	9.8	12.2	14.6	12.2	9.8	7.3	2.4	-	-	7.3	400
その他	8	75.0	12.5	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-	117

■:1位、■:2位、■:3位

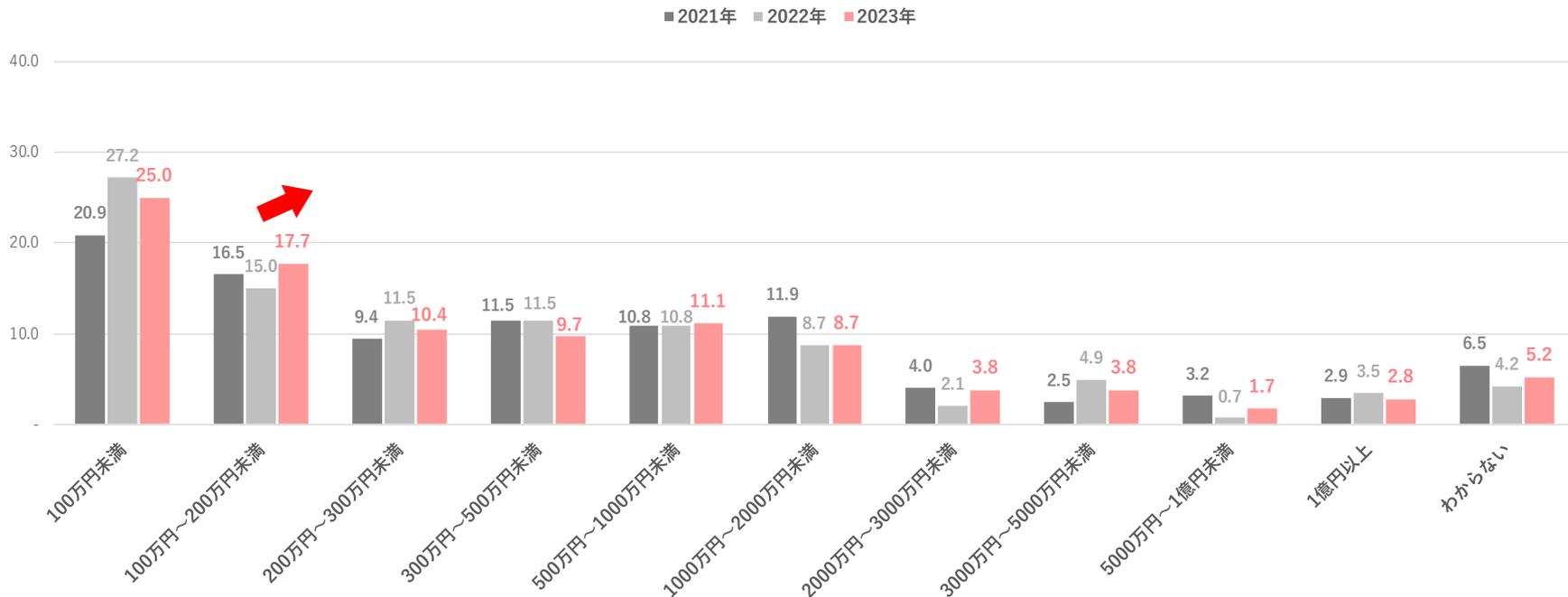
3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q12被害額 ②時系列比較

- 被害額は、2022年調査と比べて「100万円～200万円未満」が微増。
- 2021年と比べて「100万円未満」が増加。

Q12. お勤めの企業では、何らかのリスク(危険)により、実際に被害を被ったとのことですが、その被害額はいくらくらいでしたか。

おおよその金額で構いませんので、お知らせください。

※回答対象: リスクによる被害あり(n=288)



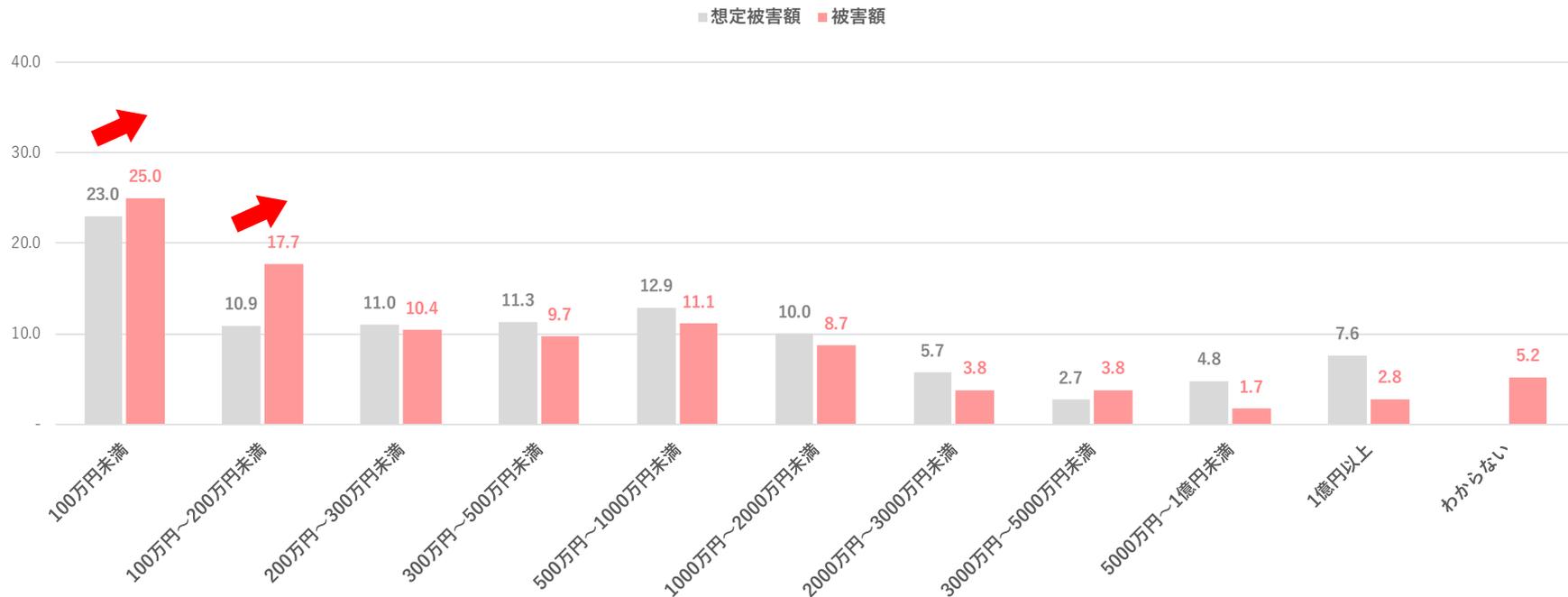
3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q12被害額 ③想定被害額との比較

- 想定被害額と実際の被害額の差をみると、想定被害額よりも、実際の被害額の方が「100万円未満」「100万円～200万円未満」の比率が高くなっており、想定と実被害額にはギャップがあることがわかる。

Q12. お勤めの企業では、何らかのリスク(危険)により、実際に被害を被ったとのことですが、その被害額はいくらくらいでしたか。

おおよその金額で構いませんので、お知らせください。

※回答対象: リスクによる被害あり(n=288)



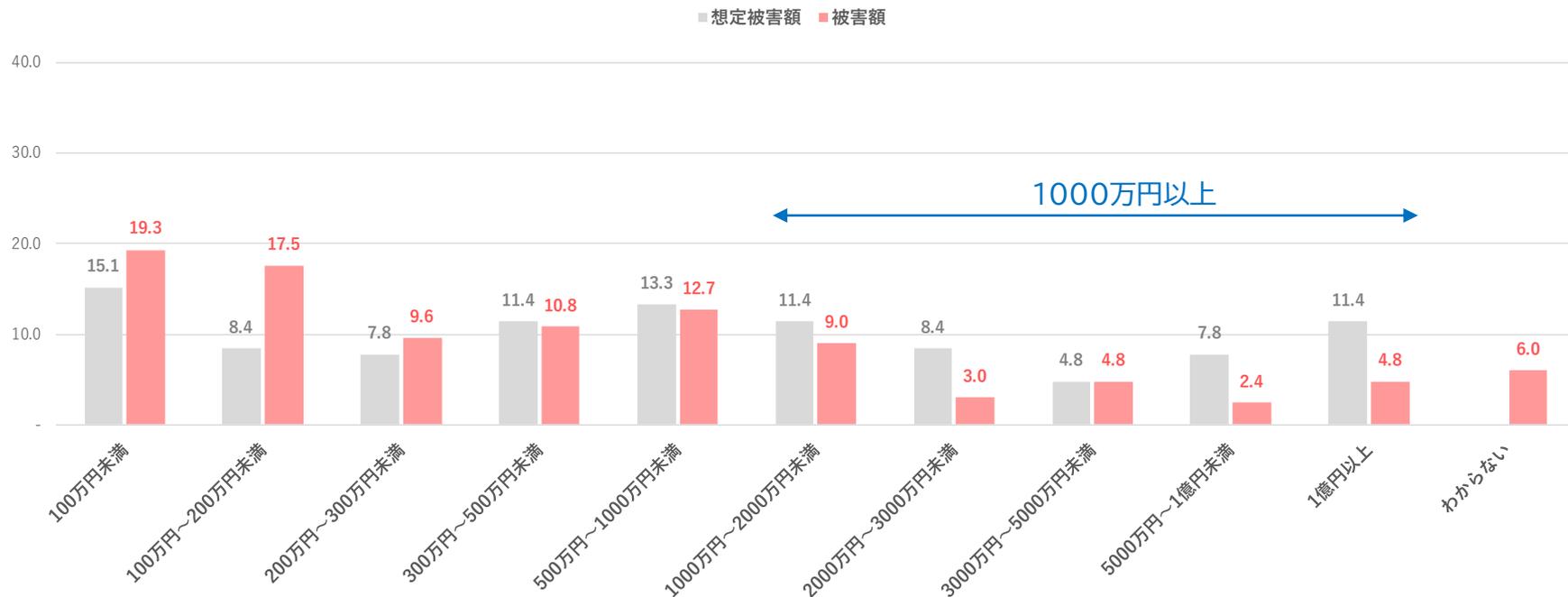
3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q12被害額 ④想定被害額との比較(保険加入あり)

- リスクへの対策として損害保険に加入している企業は、想定被害額が1000万円以上(43.8%)、1億円以上(11.4%)と高いが、実際の被害額は1000万円以上(24.0%)、1億円以上(4.8%)と、想定被害額と比較して半減している。

Q12. お勤めの企業では、何らかのリスク(危険)により、実際に被害を被ったとのことですが、その被害額はいくらくらいでしたか。

おおよその金額で構いませんので、お知らせください。

※回答対象:リスクによる被害あり×リスク対策としての保険加入あり(n=166)



3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q13被害に遭った際の考え ①

- 被害に遭った際の考えについては、「何かしらのリスクが発生するのはしょうがないと思う」(62.5%)が最多。以下、「リスクに対する備えが不足していたと思う」(55.6%)、「被害額がこんなにも高くなると思っていなかった」(50.3%)、「社内体制を整えられていなかった」(40.3%)が続く。

Q13. お勤めの企業では、何らかのリスク(危険)により、実際に被害を被ったとのことですが、被害に遭ったことについて、どのようにお考えでしたか。

以下に挙げる項目について、当時のあなたのお考えに最も近いものをひとつだけお知らせください。

※回答対象:リスクによる被害あり(n=288)

	n	回答割合 (%)					あてはまる計 (%)	
		■ とてもあてはまる	■ ややあてはまる	□ どちらともいえない	□ あまりあてはまらない	□ 全くあてはまらない		
何かしらのリスクが発生するのはしょうがないと思う	288	13.9	48.6		27.1	7.3	3.1	62.5
リスクに対する備えが不足していたと思う	288	16.3	39.2		29.9	10.8	3.8	55.6
被害額がこんなにも高くなると思っていなかった	288	13.9	36.5		33.7	14.2	1.7	50.3
社内体制を整えられていなかった	288	12.2	28.1		35.8	13.2	10.8	40.3
うちの会社では、まさか起こらないと思っていた	288	9.0	29.9		26.7	21.2	13.2	38.9
現状の対策で十分だろうと思っていた	288	7.3	31.6		36.1	19.1	5.9	38.9
相談できる相手がいなかった	288	10.4	28.1		33.3	19.8	8.3	38.5
業務フローにもともと不安を感じていた	288	9.4	27.8		40.6	13.9	8.3	37.2
リスク管理の責任者が定まっていなかった	288	10.8	25.0		33.7	16.7	13.9	35.8
風評被害など、二次的な被害まで想定していなかった	288	7.6	23.3		34.0	19.8	15.3	30.9
業績が順調だったので、リスクに目を向けていなかった	288	8.0	22.9		34.4	27.1	7.6	30.9
社員教育/啓発/研修が不足していたと思う	288	8.7	21.5		35.1	17.4	17.4	30.2
被害により取引先の信頼が落ちたと思う	288	6.3	21.2		30.6	24.3	17.7	27.4

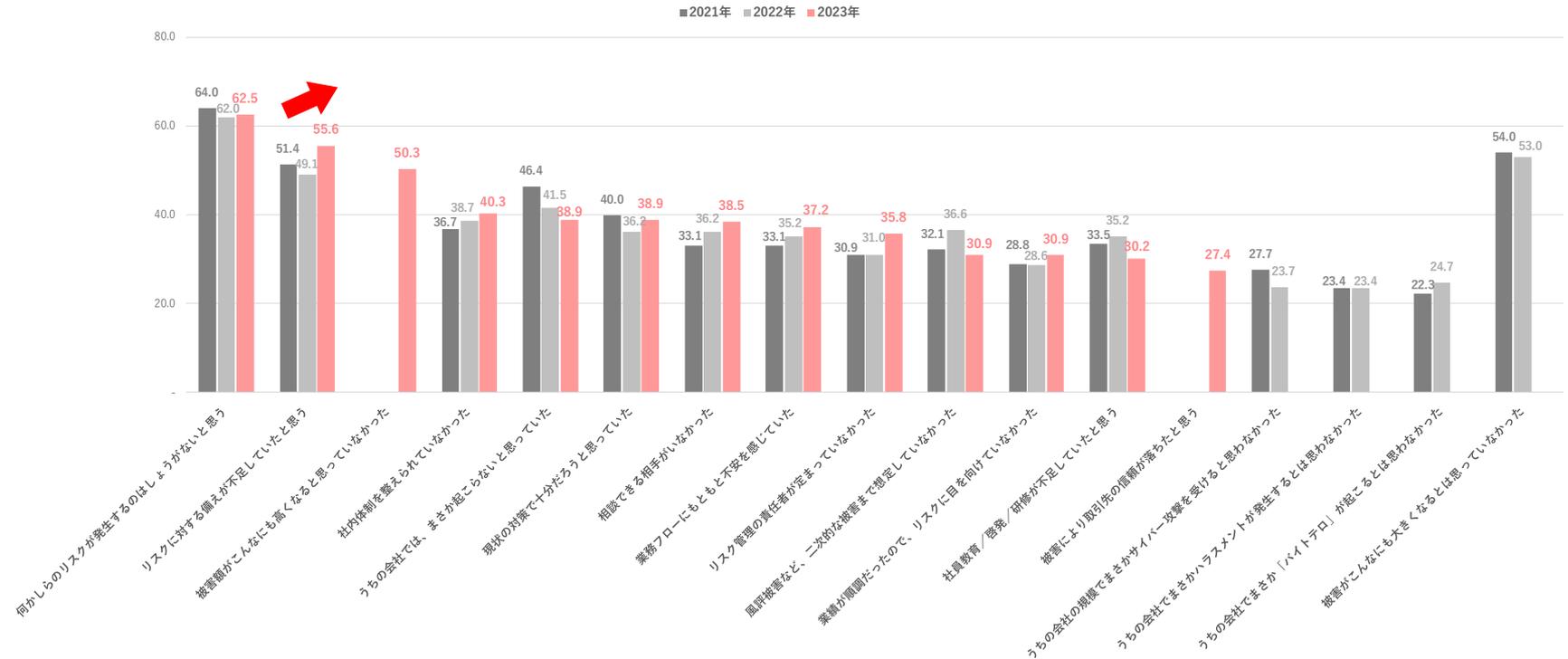
3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q13被害に遭った際の考え ②時系列比較(TOP2BOX)

- 2021年調査と比較すると、「リスクに対する備えが不足していたと思う」が4.2pt増加している。

Q13. お勤めの企業では、何らかのリスク(危険)により、実際に被害を被ったとのことですが、被害に遭ったことについて、どのようにお考えでしたか。

以下に挙げる項目について、当時のあなたのお考えに最も近いものをひとつだけお知らせください。

※回答対象: リスクによる被害あり(n=288)



※2023年のポイントで降順
※スコアがないものは未聴取

3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q13被害に遭った際の考え ③リスク別(TOP2BOX)

- 「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少」は「リスクに対する備えが不足していたと思う」のスコアが高めである。

Q13. お勤めの企業では、何らかのリスク(危険)により、実際に被害を被ったとのことですが、被害に遭ったことについて、どのようにお考えでしたか。

以下に挙げる項目について、当時のあなたのお考えに最も近いものをひとつだけお知らせください。

※回答対象:リスクによる被害あり(n=288)

	n	何かしらのリスクが発生するのじゃないと思う	リスクに対する備えが不足していたと思う	被害額がこんなにも高くなると思っていなかった	社内体制を整えられていなかった	うちの会社では、まさか起こらないと思っていた	現状の対策で十分だろうと思っていた	相談できる相手がいなかった	業務フローにもともと不安を感じていた	リスク管理の責任者が定まっていなかった	風評被害など、二次的な被害まで想定していなかった	業績が順調だったので、リスクに目を向けていなかった	社員教育/啓発/研修が不足していたと思う	被害により取引先の信頼が落ちたと思う (%)
全体	288	62.5	55.6	50.3	40.3	38.9	38.9	38.5	37.2	35.8	30.9	30.9	30.2	27.4
リスク	自然災害	121	66.9	49.6	48.8	37.2	43.0	43.8	34.7	33.9	35.5	33.1	29.8	21.5
	国際情勢	33	66.7	63.6	45.5	42.4	30.3	39.4	45.5	36.4	36.4	33.3	24.2	30.3
	法令順守違反	19	52.6	63.2	63.2	47.4	57.9	42.1	47.4	63.2	52.6	42.1	47.4	52.6
	サイバーリスク	16	56.3	87.5	56.3	56.3	56.3	62.5	50.0	56.3	43.8	56.3	37.5	37.5
	テロ・破壊活動	3	100.0	100.0	66.7	100.0	66.7	100.0	66.7	66.7	100.0	66.7	100.0	66.7
	経済環境リスク	86	64.0	60.5	54.7	47.7	34.9	34.9	47.7	45.3	40.7	38.4	27.9	30.2
	顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少	100	60.0	68.0	51.0	43.0	34.0	33.0	46.0	43.0	39.0	32.0	37.0	30.0
	情報の漏洩	19	52.6	73.7	68.4	57.9	63.2	52.6	52.6	63.2	68.4	57.9	57.9	52.6
	製造物に関する損害賠償	23	65.2	60.9	60.9	52.2	43.5	60.9	30.4	52.2	52.2	56.5	39.1	52.2
	従業員からの損害賠償請求	12	58.3	91.7	58.3	83.3	50.0	41.7	75.0	75.0	75.0	50.0	33.3	41.7
	勤務中や移動中における損害賠償	34	76.5	67.6	50.0	58.8	41.2	52.9	41.2	50.0	47.1	38.2	26.5	38.2
	感染症	84	69.0	61.9	48.8	48.8	40.5	34.5	45.2	46.4	39.3	34.5	29.8	26.2
	知的財産権侵害リスク	10	60.0	60.0	70.0	50.0	50.0	40.0	70.0	50.0	60.0	60.0	40.0	40.0
	人材流出リスク	41	68.3	65.9	48.8	53.7	34.1	39.0	43.9	48.8	56.1	39.0	31.7	43.9
	その他	8	50.0	37.5	25.0	37.5	37.5	25.0	25.0	12.5	-	12.5	-	25.0

■:1位、■:2位、■:3位

※全体のポイントで降順

3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q14被害に遭った企業の意識

- 実際に被害に遭った企業のおよそ半数(46.2%)が、取っておくべき対策として「損害保険への加入」と回答しており、リスクへの対策としては最も高い。以下、「貯蓄」「補助金等の活用」「共済への加入」と続く。
- 特に、「製造物に関する損害賠償」「勤務中や移動中における損害賠償」は、「損害保険への加入」の回答が多い。

Q14. お勤めの企業では、何らかのリスク(危険)により、実際に被害を被ったとのことですが、実際に被害に遭った際に、どのような対策をしておくべきだったと感じましたか。

※回答対象:リスクによる被害あり(n=288)

	n	損害保険への加入	貯蓄	補助金等の活用	共済への加入	保険以外の金融商品	BCP/事業継続力強化計画の申請/認定取得	その他	特になし
		(%)							
全体	288	46.2	35.4	26.0	19.8	9.0	8.0	6.3	24.0
リスク	自然災害	61.2	28.1	16.5	24.8	5.0	3.3	1.7	19.0
	国際情勢	30.3	24.2	18.2	18.2	6.1	18.2	6.1	33.3
	法令順守違反	47.4	26.3	26.3	26.3	15.8	31.6	-	15.8
	サイバーリスク	43.8	31.3	18.8	18.8	18.8	6.3	18.8	18.8
	テロ・破壊活動	33.3	66.7	66.7	33.3	66.7	33.3	-	33.3
	経済環境リスク	14.0	44.2	27.9	11.6	3.5	1.2	4.7	31.4
	顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少	27.0	39.0	17.0	13.0	12.0	8.0	6.0	27.0
	情報の漏洩	52.6	21.1	31.6	31.6	31.6	21.1	-	21.1
	製造物に関する損害賠償	82.6	21.7	8.7	30.4	8.7	13.0	-	8.7
	従業員からの損害賠償請求	66.7	16.7	16.7	-	8.3	25.0	25.0	16.7
	勤務中や移動中における損害賠償	76.5	32.4	20.6	29.4	14.7	11.8	-	8.8
	感染症	22.6	27.4	36.9	15.5	9.5	6.0	1.2	32.1
	知的財産権侵害リスク	50.0	30.0	20.0	10.0	-	10.0	20.0	30.0
	人材流出リスク	24.4	31.7	22.0	19.5	12.2	4.9	7.3	36.6
その他	-	-	-	-	-	-	-	12.5	87.5

■:1位、■:2位、■:3位

※全体のポイントで降順

3. 調査結果 企業を取り巻くリスク Q15損害保険でカバーしたいリスク（時系列比較）

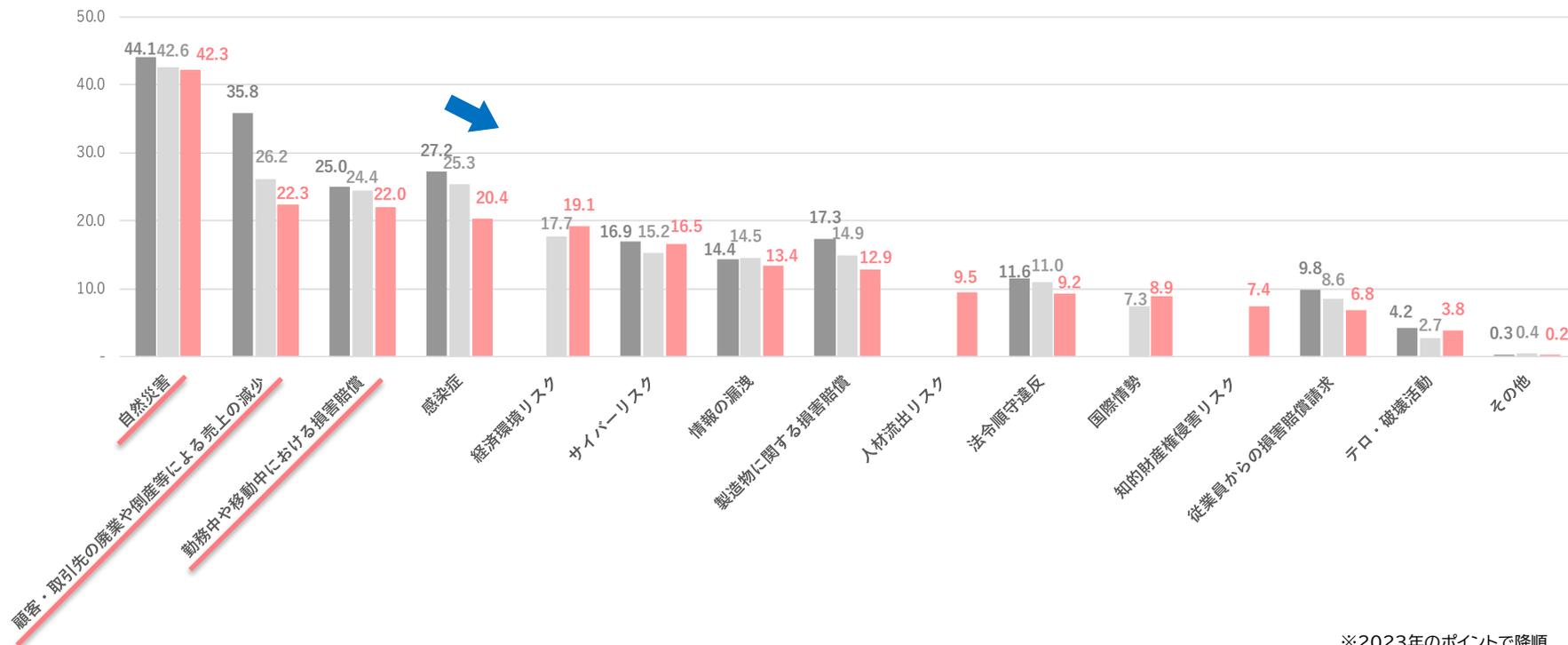
- 損害保険でカバーしたいリスクは、「自然災害」が42.3%で最も高い。以下、「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少」(22.3%)、「勤務中や移動中における損害賠償」(22.0%)、「感染症」(20.4%)と続く。
- 2022年調査と比較すると「感染症」が低下(-4.9pt)。

Q15. お勤めの企業では、今後企業向け／法人向け損害保険に加入して、どのようなリスク(危険)を回避・軽減できるとよいと思いますか。

以下の中からあてはまるものをすべてお知らせください。

※回答対象:全体(n=1,031)

■ 2021年 ■ 2022年 ■ 2023年



※2023年のポイントで降順
※スコアがないものは未聴取

3. 調査結果 企業向け損害保険 Q16損害保険に対する意識 ①

- 企業向け損害保険に対する意識としては、「近年リスクが増えていると思う」(63.3%)が最も高い。以下、「保険に加入するのであれば、損金算入できるなど、減税効果を求める」「実際に被害に遭ったときに補償対象となるのか不安だ」「経営責任として、保険加入が必要だと思う」が5割後半で続く。

Q16. 中小企業をとりまくリスク(危険)や企業向け/法人向け損害保険に対して、どのようなお考えをお持ちですか。

以下に挙げる項目について、それぞれあてはまるものをひとつだけお知らせください。

※回答対象:全体(n=1,031)

	n	あてはまる計 (%)					あてはまる計 (%)
		■ とてもあてはまる	■ ややあてはまる	□ どちらともいえない	■ あまりあてはまらない	■ 全くあてはまらない	
近年リスクが増えていると思う	1,031	21.0	42.4	29.2	5.3	2.1	63.3
保険に加入するのであれば、損金算入できるなど、減税効果を求める	1,031	17.6	41.3	32.9	6.5	1.7	58.9
実際に被害に遭ったときに補償対象となるのか不安だ	1,031	17.5	39.9	34.3	6.4	1.9	57.3
経営責任として、保険加入が必要だと思う	1,031	16.5	40.2	34.4	6.3	2.6	56.6
補償の内容が複雑でわかりにくい	1,031	15.3	38.9	34.2	9.5	2.0	54.2
保険に加入していることで、安心して事業を行うことができる	1,031	10.9	42.0	35.8	7.5	3.9	52.9
保険会社や保険代理店から情報提供してほしい	1,031	10.9	35.6	40.3	8.8	4.5	46.5
保険に加入していることで、従業員に対して安心感を示すことができと思う	1,031	9.7	36.7	40.8	7.7	5.1	46.4
身近で被害を目の当たりにしないと、リスクの脅威や保険の必要性について実感がわかない	1,031	9.4	36.6	40.0	11.2	2.9	46.0
自社で本当に必要な保険がどのようなものかわからない	1,031	12.8	32.8	37.5	13.0	3.9	45.6
発生するかわからないリスクに対して保険をかけるのがもったいない	1,031	10.8	32.0	37.7	14.6	4.8	42.8
保険に加入していることで、取引先に対して安心感を示すことができと思う	1,031	7.7	32.9	43.1	11.0	5.4	40.5
保険に加入するお金をその他の支出にまわしたい	1,031	11.6	27.3	44.9	13.9	2.3	38.9
ひとつの保険会社にすべてをお任せしたい	1,031	7.1	27.1	47.7	12.3	5.8	34.1
心配性なので、できる限り色々な保険に加入しておきたい	1,031	4.8	19.1	45.2	22.8	8.1	24.0

3. 調査結果 企業向け損害保険 Q16損害保険に対する意識 ②時系列比較(TOP2BOX)

- 2022年調査と比較すると、「保険に加入していることで、安心して事業を行うことができる」「保険に加入していることで、取引先に対して安心感を示すことができると思う」のスコアが4.4pt減少している。
- 一方で「発生するかわからないリスクに対して保険をかけるのがもったいない」のスコアが4.7pt増加している。

Q16. 中小企業をとりまくリスク(危険)や企業向け/法人向け損害保険に対して、どのようなお考えをお持ちですか。

以下に挙げる項目について、それぞれあてはまるものをひとつだけお知らせください。

※回答対象:全体(n=1,031)



※2023年のポイントで降順
※スコアがないものは未聴取

3. 調査結果 企業向け損害保険 Q17認知状況 ①

- 「火災保険」「傷害保険」「地震危険補償特約」「休業補償保険」などの主要な保険は認知度が高い。
- 一方で、認知率が半数以下、内容理解率が1割程度にとどまる保険も多い。

Q17. あなたは、企業向け／法人向け損害保険をご存知でしたか。以下に挙げるリスク(危険)に備える保険、それぞれについてお知らせください。

※回答対象:全体(n=1,031)

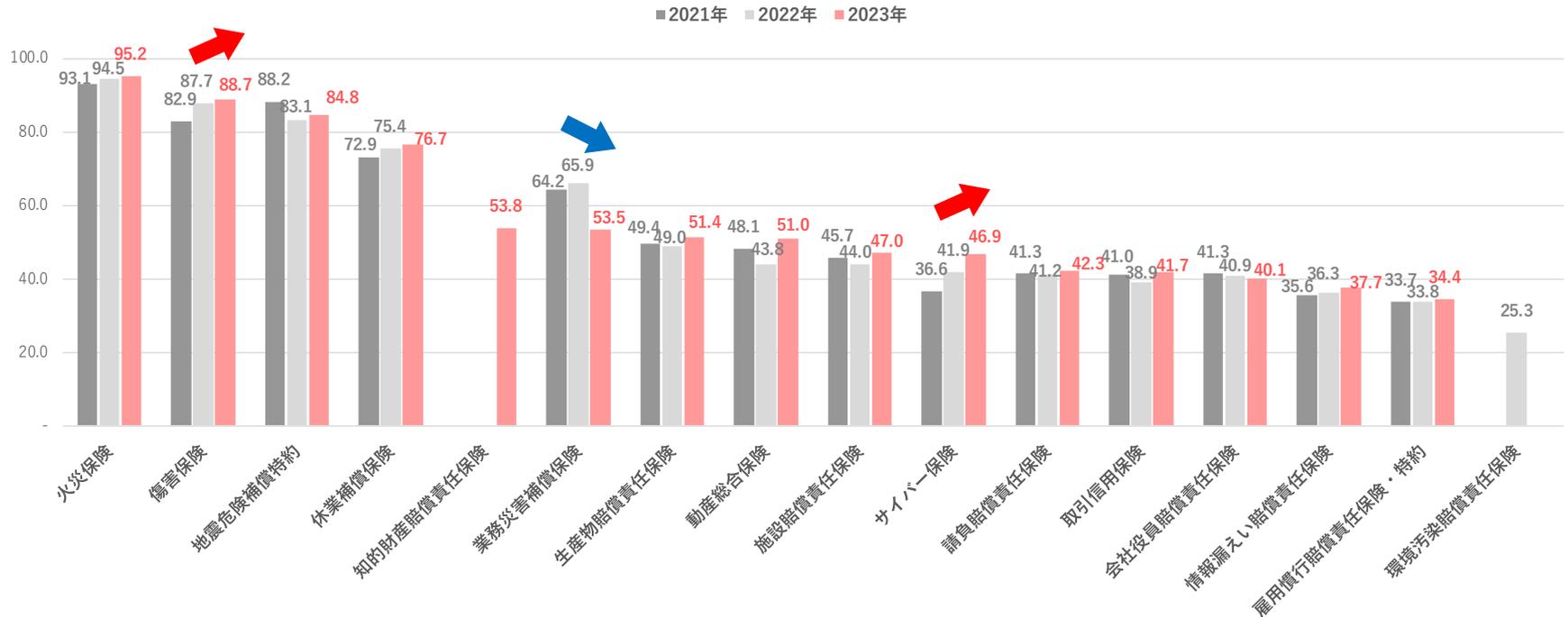
		n	■ 詳しい内容まで知っている	■ 詳しい内容まで知らないが、聞いたことはある	□ 知らない	認知計 (%)
保 険 種 別	火災保険	1,031	56.4	38.8	4.8	95.2
	傷害保険	1,031	36.4	52.4	11.3	88.8
	地震危険補償特約	1,031	38.4	46.4	15.2	84.8
	休業補償保険	1,031	20.0	56.7	23.3	76.7
	知的財産賠償責任保険	1,031	7.7	46.2	46.2	53.9
	業務災害補償保険	1,031	14.4	39.2	46.5	53.6
	生産物賠償責任保険	1,031	15.2	36.2	48.6	51.4
	動産総合保険	1,031	15.5	35.5	49.0	51.0
	施設賠償責任保険	1,031	14.1	33.0	53.0	47.1
	サイバー保険	1,031	8.5	38.4	53.1	46.9
	請負賠償責任保険	1,031	10.8	31.5	57.7	42.3
	取引信用保険	1,031	8.8	32.9	58.3	41.7
	会社役員賠償責任保険	1,031	9.6	30.5	59.9	40.1
	情報漏えい賠償責任保険	1,031	7.8	30.0	62.3	37.8
	雇用慣行賠償責任保険・特約	1,031	6.4	28.0	65.6	34.4

3. 調査結果 企業向け損害保険 Q17認知状況 ②時系列比較(TOP2BOX)

- 2022年調査と比較すると、「サイバー保険」が5.0pt増加した。2021年と比べると10.3pt増加。
- 一方で、「業務災害補償保険(労働災害総合保険)」が12.4pt低下している。
- 2021年と比べて「傷害保険」が5.8pt増加した。

Q17. あなたは、企業向け／法人向け損害保険をご存知でしたか。以下に挙げるリスク(危険)に備える保険、それぞれについてお知らせください。

※回答対象:全体(n=1,031)



※2023年のポイントで降順
※スコアがないものは未聴取

3. 調査結果 企業向け損害保険 Q18関心度 ①

- 企業向けの損害保険に対する関心度を聞くと、「火災保険」(60.8%)、「地震危険補償特約」(52.2%)、「傷害保険」(44.9%)が高い。

Q18. お勤めの企業では、このようナリスク(危険)に備える保険について、経営課題としてどの程度関心がありますか。

※回答対象:全体(n=1,031)

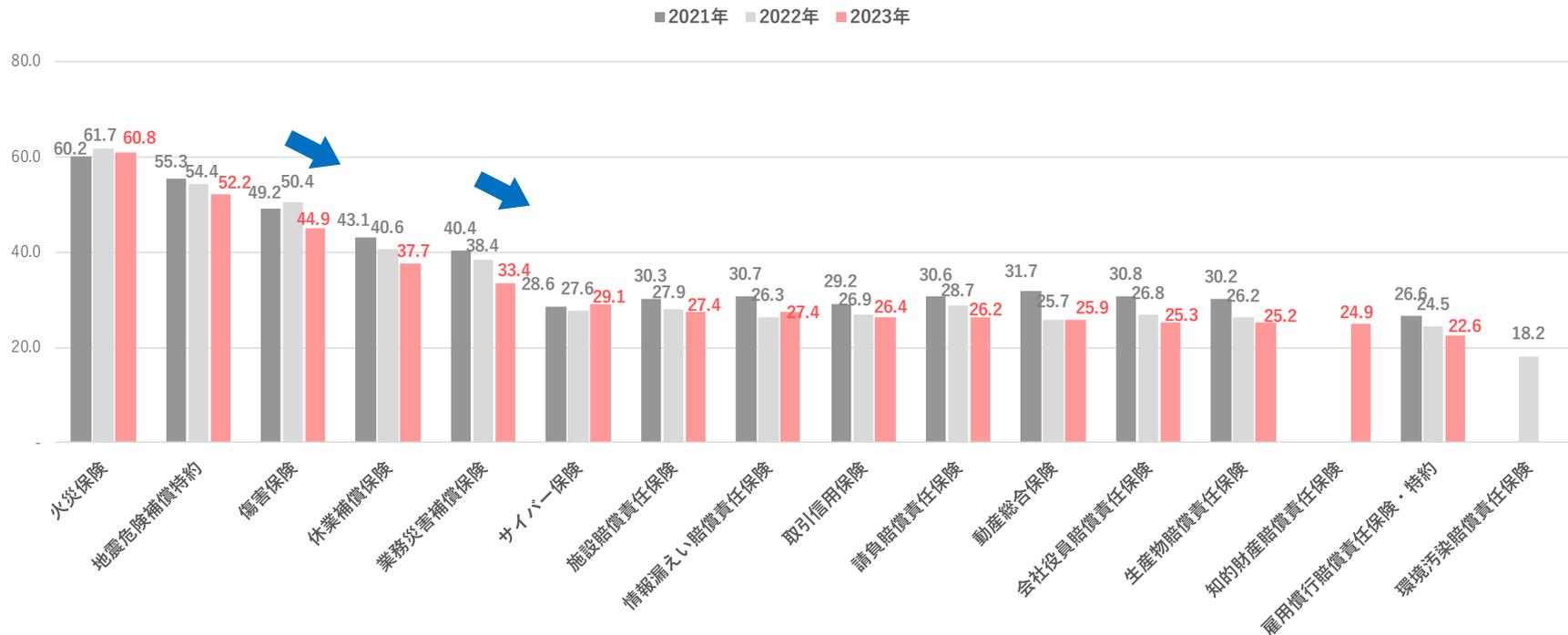
		■ とても関心がある ■ やや関心がある □ どちらともいえない □ あまり関心がない ■ 全く関心がない					関心がある計	
		(%)						
		n						
全体		1,031	33.5	47.4	14.7	2.4	1.9	80.9
保 険 種 別	火災保険	1,031	20.0	40.8	26.6	8.1	4.6	60.8
	地震危険補償特約	1,031	14.9	37.2	31.0	10.9	5.9	52.2
	傷害保険	1,031	9.9	35.0	36.1	12.0	7.0	44.9
	休業補償保険	1,031	7.9	29.9	35.9	16.5	9.9	37.7
	業務災害補償保険	1,031	7.5	25.9	39.4	16.1	11.2	33.4
	サイバー保険	1,031	7.3	21.8	33.9	22.3	14.7	29.1
	施設賠償責任保険	1,031	6.8	20.6	40.3	19.7	12.6	27.4
	情報漏えい賠償責任保険	1,031	6.1	21.2	36.2	22.2	14.3	27.4
	取引信用保険	1,031	5.3	21.0	39.8	20.8	13.1	26.4
	請負賠償責任保険	1,031	5.7	20.5	38.4	21.0	14.5	26.2
	動産総合保険	1,031	6.0	19.9	40.3	20.6	13.2	25.9
	会社役員賠償責任保険	1,031	4.7	20.7	38.2	21.6	14.8	25.3
	生産物賠償責任保険	1,031	6.1	19.1	35.9	23.3	15.6	25.2
	知的財産賠償責任保険	1,031	4.6	20.4	36.5	23.8	14.8	24.9
	雇用慣行賠償責任保険・特約	1,031	5.5	17.1	42.0	19.7	15.7	22.6

3. 調査結果 企業向け損害保険 Q18関心度 ②時系列比較(TOP2BOX)

- 2022年調査と比較すると、「傷害保険」が5.5pt、「業務災害補償保険(労働災害総合保険)」が5.0pt低下している。

Q18. お勤めの企業では、このようナリスク(危険)に備える保険について、経営課題としてどの程度関心がありますか。

※回答対象:全体(n=1,031)



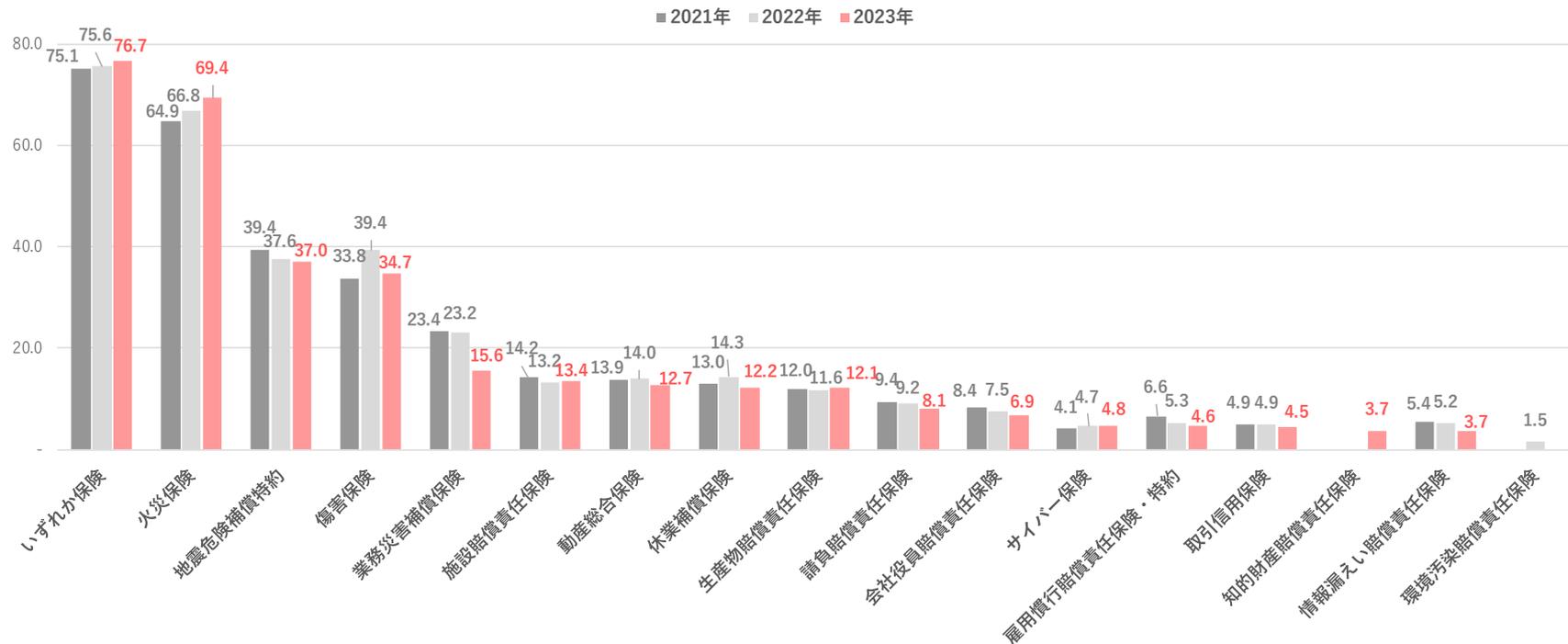
※2023年のポイントで降順
※スコアがないものは未聴取

3. 調査結果 企業向け損害保険 Q19加入状況

- 企業向け損害保険の加入率は76.7 %。
- 保険種別でみると「火災保険」が69.4%で最多。
以下、「地震危険補償特約」(37.0%)、「傷害保険」(34.7%)と続く。

Q19. お勤めの企業では、企業向け／法人向け損害保険に加入していますか。

※回答対象:全体(n=1,031)



※2023年のポイントで降順
※スコアがないものは未聴取

3. 調査結果 企業向け損害保険 Q20加入のきっかけ ①

- 保険加入のきっかけは、「保険代理店から提案があったから」(24.9%)、「保険会社から提案があったから」(24.7%)、「年々リスクが複雑化していると思うから」(23.9%)がトップ3。
- 「知的財産賠償責任保険」は「周囲の企業が被害に遭ったから」のスコアが他の保険に比べて高い。
- 「情報漏えい賠償責任保険」は「ニュース等で様々な事件、被害状況が取り上げられているから」のスコアが他の保険に比べて高い。

Q20. お勤めの企業で、企業向け／法人向け損害保険に加入することになったきっかけをお知らせください。

以下に挙げるリスク(危険)に備える保険、それぞれについてお知らせください。

※回答対象: いずれか保険加入(n=791)

	n	保険代理店から提案があったから	保険会社から提案があったから	年々リスクが複雑化していると思うから	自社/取引先に影響がありそうだから	被害が出ているわけではないが、ヒヤリハットに感じた(危険に遭遇した)経験があるから	ニュース等で様々な事件、被害状況が取り上げられているから	周囲のほとんどの企業が保険に加入しているから	取引先に対しての信用力を高めるため	自社の規模が大きくなったことで、保険加入の必要性を感じたから	自社が実際に被害にあったから	周囲の企業が被害に遭ったから	TVCMなどの広告で保険商品やリスクについて知ったから	人材や予算に余裕ができたから	その他	わからない/覚えていない (%)
全体	791	24.9	24.7	23.9	21.4	18.6	15.7	15.4	13.8	11.5	10.1	10.1	7.6	5.4	2.4	19.2
火災保険	716	16.8	15.9	13.3	13.7	10.5	8.7	12.2	4.7	5.2	5.0	5.0	3.5	2.4	2.0	24.0
地震危険補償特約	381	14.2	15.5	16.0	13.4	10.5	11.5	8.1	6.6	7.1	6.6	6.3	5.8	2.4	1.0	23.1
知的財産賠償責任保険	38	31.6	26.3	15.8	15.8	13.2	13.2	15.8	18.4	10.5	5.3	26.3	7.9	13.2	-	10.5
動産総合保険	131	26.7	17.6	16.0	15.3	13.7	3.8	9.2	8.4	9.2	3.8	5.3	3.1	3.1	1.5	16.8
休業補償保険	126	23.8	19.0	15.1	15.1	12.7	11.1	7.1	6.3	10.3	4.8	6.3	6.3	4.0	0.8	19.8
取引信用保険	46	21.7	19.6	21.7	21.7	6.5	17.4	15.2	21.7	4.3	4.3	10.9	13.0	6.5	-	17.4
施設賠償責任保険	138	18.8	15.9	18.8	18.1	11.6	8.0	4.3	9.4	9.4	5.1	5.8	5.1	2.9	0.7	17.4
生産物賠償責任保険	125	20.0	23.2	14.4	23.2	13.6	10.4	9.6	19.2	9.6	3.2	5.6	3.2	2.4	0.8	11.2
請負賠償責任保険	83	13.3	20.5	16.9	22.9	9.6	6.0	3.6	16.9	15.7	7.2	10.8	2.4	-	-	10.8
業務災害補償保険	161	23.6	19.3	18.6	17.4	8.7	8.7	7.5	16.1	11.2	3.7	5.0	3.7	4.3	0.6	15.5
傷害保険	358	18.2	17.0	15.4	13.1	10.3	10.1	7.3	10.1	6.7	3.9	5.0	5.3	4.2	0.8	20.1
会社役員賠償責任保険	71	25.4	25.4	15.5	16.9	4.2	1.4	5.6	8.5	8.5	-	2.8	2.8	2.8	-	15.5
雇用慣行賠償責任保険・特約	47	14.9	31.9	21.3	19.1	17.0	12.8	8.5	17.0	10.6	6.4	17.0	14.9	10.6	-	10.6
情報漏えい賠償責任保険	38	26.3	21.1	31.6	13.2	13.2	28.9	10.5	18.4	7.9	10.5	23.7	13.2	5.3	2.6	7.9
サイバー保険	49	12.2	18.4	38.8	24.5	4.1	12.2	4.1	14.3	14.3	14.3	10.2	10.2	6.1	2.0	14.3

■:1位、■:2位、■:3位

※全体のポイントで降順

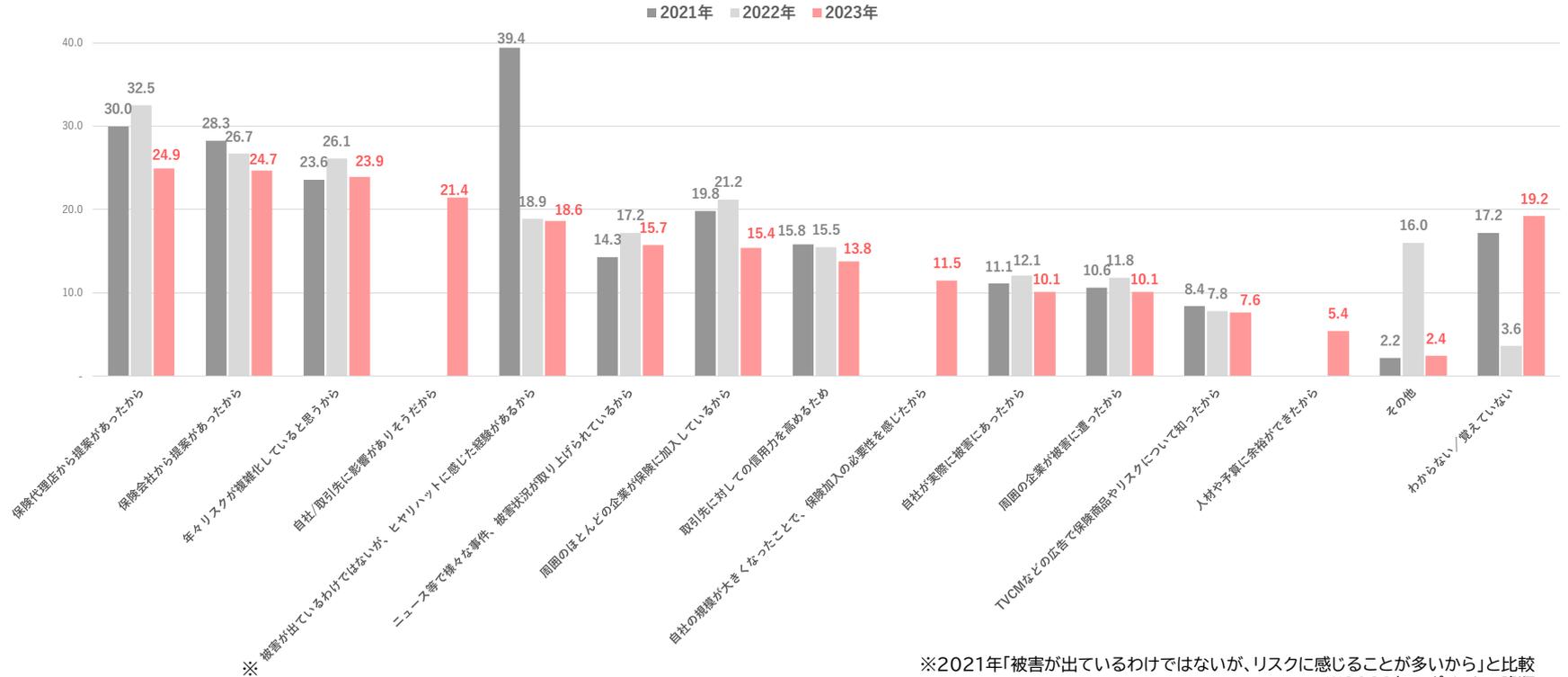
3. 調査結果 企業向け損害保険 Q20加入のきっかけ ②時系列比較

- 2021年調査と比較すると、「わからない/覚えていない」がやや増加。

Q20. お勤めの企業で、企業向け／法人向け損害保険に加入することになったきっかけをお知らせください。

以下に挙げるリスク(危険)に備える保険、それぞれについてお知らせください。

※回答対象: いずれか保険加入(n=791)



3. 調査結果 企業向け損害保険 Q21損害保険によって被害や損害を軽減できたリスク①

- 損害保険によって被害や損害を軽減できたリスクは「自然災害」(32.5%)が最多。
以下、「勤務中や移動中における損害賠償」(18.2%)、「製造物に関する損害賠償」(12.4%)が続く。

Q21. お勤めの企業では、企業向け／法人向け損害保険に加入したことによって、何らかの被害を回避できたり、軽減できましたか。被害を回避／軽減できたことがある場合は、具体的にどのようなリスク(危険)による被害を回避／軽減できましたか。以下に挙げるリスク(危険)に備える保険、それぞれについてお知らせください。

※回答対象:いずれか保険加入(n=791)

	n	自然災害	勤務中や移動中における損害賠償	製造物に関する損害賠償	顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少	人材流出リスク	従業員からの損害賠償請求	経済環境リスク	サイバーリスク	感染症	情報の漏洩	法令順守違反	知的財産権侵害リスク	国際情勢	テロ・破壊活動	その他	わからない／覚えていない	企業向け／法人向け損害保険に加入したことによって、被害を回避／軽減できたことはない (%)	
全体	791	32.5	18.2	12.4	7.5	6.8	6.7	5.8	5.7	5.7	5.6	5.2	5.1	3.5	3.5	1.3	21.7	36.3	
保 険 種 別	火災保険	716	31.6	3.1	5.7	1.8	2.2	1.8	2.7	2.0	1.7	2.1	1.3	1.7	1.1	1.7	0.8	16.1	42.6
	地震危険補償特約	381	33.9	2.4	3.4	1.8	3.1	2.4	1.8	1.3	2.6	1.3	2.4	1.6	0.8	0.8	14.2	43.3	
	知的財産賠償責任保険	38	13.2	10.5	13.2	15.8	10.5	18.4	10.5	13.2	5.3	18.4	13.2	23.7	18.4	2.6	-	2.6	36.8
	動産総合保険	131	20.6	16.0	11.5	5.3	3.1	5.3	2.3	2.3	1.5	3.1	2.3	0.8	6.1	3.1	1.5	11.5	42.0
	休業補償保険	126	11.9	11.9	3.2	7.1	12.7	7.1	5.6	3.2	13.5	2.4	5.6	3.2	5.6	4.8	-	19.0	34.1
	取引信用保険	46	4.3	15.2	15.2	39.1	6.5	4.3	19.6	2.2	2.2	8.7	8.7	8.7	4.3	-	-	17.4	19.6
	施設賠償責任保険	138	12.3	13.8	15.2	6.5	2.9	5.1	3.6	2.2	2.2	5.8	5.8	1.4	2.2	3.6	1.4	14.5	42.0
	生産物賠償責任保険	125	7.2	7.2	22.4	5.6	4.0	3.2	4.0	3.2	0.8	1.6	4.8	2.4	0.8	0.8	1.6	12.8	40.0
	請負賠償責任保険	83	6.0	19.3	15.7	18.1	4.8	3.6	6.0	1.2	6.0	3.6	6.0	1.2	2.4	4.8	2.4	10.8	28.9
	業務災害補償保険	161	4.3	23.6	5.6	5.0	8.1	6.8	5.0	1.9	3.7	2.5	3.1	1.9	3.1	1.9	1.2	16.1	36.6
	傷害保険	358	8.1	21.8	4.2	3.6	5.6	3.9	4.2	2.0	2.8	3.1	2.5	2.8	1.1	1.4	0.3	20.9	37.2
	会社役員賠償責任保険	71	8.5	8.5	2.8	8.5	5.6	9.9	9.9	1.4	1.4	5.6	5.6	2.8	5.6	1.4	-	15.5	40.8
	雇用慣行賠償責任保険・特約	47	10.6	19.1	12.8	14.9	12.8	17.0	21.3	6.4	-	10.6	10.6	8.5	10.6	2.1	-	10.6	29.8
	情報漏えい賠償責任保険	38	7.9	5.3	10.5	5.3	7.9	10.5	5.3	31.6	13.2	28.9	7.9	15.8	7.9	5.3	2.6	7.9	34.2
	サイバー保険	49	6.1	4.1	6.1	2.0	12.2	6.1	6.1	24.5	4.1	18.4	4.1	4.1	2.0	12.2	-	10.2	30.6

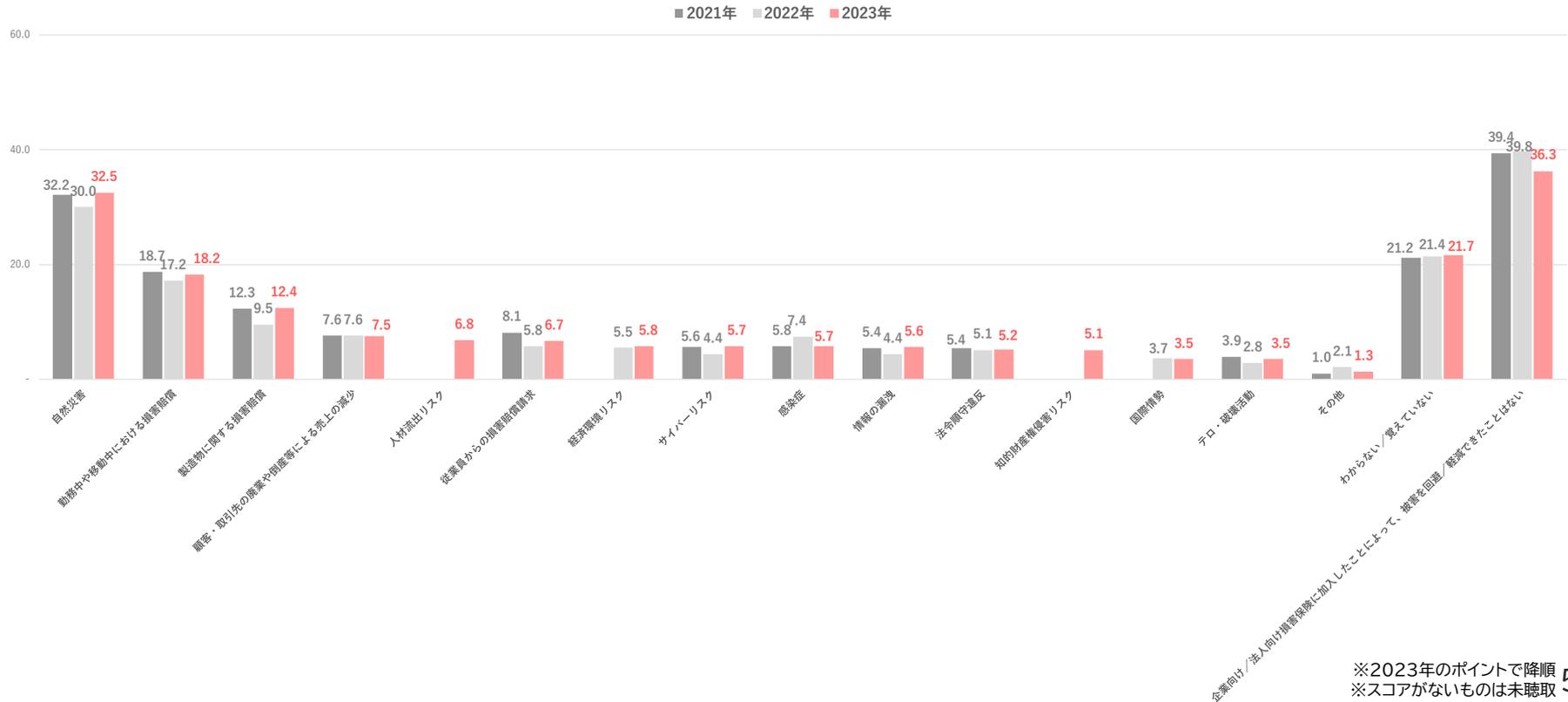
■:1位、■:2位、■:3位

3. 調査結果 企業向け損害保険 Q21損害保険によって被害や損害を軽減できたリスク ②時系列比較

- 過去調査と比較すると、ほぼ横ばいとなっている。

Q21. お勤めの企業では、企業向け／法人向け損害保険に加入したことによって、何らかの被害を回避できたり、軽減できましたか。被害を回避／軽減できたことがある場合は、具体的にどのようなリスク(危険)による被害を回避／軽減できましたか。以下に挙げるリスク(危険)に備える保険、それぞれについてお知らせください。

※回答対象:いずれか保険加入(n=791)



※2023年のポイントで降順
※スコアがないものは未聴取

3. 調査結果 企業向け損害保険 Q22損害保険によって被害や損害を軽減できなかった理由

- 損害保険によって被害や損害を軽減できなかった理由としては、「そもそも、保険が必要な状況が起こっていない」が76.3%と高い。また、「わからない／覚えていない」が18.5%となっている。
- 具体的な回答は少ないが、「保険金を請求したが、想定よりも安かった」「保険を利用しようと思ったが、補償の範囲外の内容だと思ったため保険金を請求しなかった」などが挙がる。

Q22. お勤めの企業では、企業向け／法人向け損害保険に加入したことによって、被害を回避できたり、軽減できたという経験がないとのことですが、その理由としてあてはまるものを、以下の中からすべてお知らせください。以下に挙げるリスク(危険)に備える保険、それぞれについてお知らせください。

※回答対象:メリット未経験(n=384)

	n	そもそも、保険が必要な状況が起こっていない	保険金を請求したが、想定よりも安かった	保険を利用しようと思ったが、補償の範囲外の内容だと思ったため保険金を請求しなかった	保険金を請求したが、補償の対象外であった	保険を利用する場合と、等級が下がって保険料が高くなる場合のコストメリットを考えて、利用しなかった	手続きが煩わしく、保険金を請求しなかった	その他	わからない／覚えていない (%)	
全体	384	76.3	2.9	2.6	2.3	2.3	1.0	0.8	18.5	
保 険 種 別	火災保険	305	76.7	1.3	1.3	2.0	1.0	-	0.7	18.7
	地震危険補償特約	165	80.0	1.2	1.8	1.8	0.6	-	0.6	15.2
	知的財産賠償責任保険	14	64.3	7.1	-	-	7.1	-	-	21.4
	動産総合保険	55	81.8	1.8	-	-	1.8	-	-	14.5
	休業補償保険	43	79.1	2.3	-	-	-	2.3	-	16.3
	取引信用保険	9	66.7	11.1	-	-	-	-	-	22.2
	施設賠償責任保険	58	79.3	1.7	1.7	1.7	3.4	1.7	-	10.3
	生産物賠償責任保険	50	84.0	-	2.0	-	-	2.0	-	12.0
	請負賠償責任保険	24	83.3	4.2	-	-	-	4.2	-	8.3
	業務災害補償保険	59	88.1	-	-	-	1.7	-	-	10.2
	傷害保険	133	74.4	1.5	1.5	2.3	1.5	0.8	0.8	17.3
	会社役員賠償責任保険	29	79.3	-	-	-	-	-	-	20.7
	雇用慣行賠償責任保険・特約	14	71.4	-	-	7.1	-	7.1	-	14.3
	情報漏えい賠償責任保険	13	100.0	-	-	-	-	-	-	-
サイバー保険	15	80.0	-	-	-	-	-	-	20.0	

■:1位、■:2位、■:3位

※全体のポイントで降順

3. 調査結果 企業向け損害保険 Q23被害や損害を軽減できた具体的な被害内容

- 被害や損害を軽減できた具体的な被害内容として、以下の回答が挙がった。

Q23. お勤めの企業では、企業向け／法人向け損害保険に加入したことによって、何らかの被害を回避できたり、軽減できたりしたことがあるとのことですが、どの保険を利用したかを記載した上で、回避／軽減できた被害の内容を、できるだけ詳しくご記入ください。

※回答対象:リスクによる被害あり(n=381)

火災保険

- ・自社収益物件で、台風による被害が出たときに、火災保険で修繕できた
- ・豪雪により社屋の屋根と軒下が破損したが、火災保険から纏まった費用を捻出することで軽減できた

賠償責任保険

- ・お客様が弊社の服のピンで怪我をしたとのことで、保険会社の担当が処理をした
- ・作業中に発生した交通事故による多額の賠償金を損害保険で補填できた

労災保険

- ・労災保険により、仕事中のケガに対する費用を軽減できた
- ・勤務中怪我をしたが、労災保険で対処できた

その他

- ・損害保険で設備と商品の代金を補填した
- ・地震で建物が破損したが、地震保険によりまかなえた
- ・医療保険や傷害保険に入っていたことにより、コロナ感染で休業した従業員の休業期間分の保険金が下りた

3. 調査結果 企業向け損害保険 Q24非加入理由 ①

- 企業向けの損害保険に加入していない理由は、「リスクが発生する可能性は低いと考えているため」が最も高い。次いで「対策をする費用に余裕がないため」「リスクによって生じる影響・損失が分からないため」が続く。
- 「火災保険」は「対策をする費用に余裕がないため」が最も高い。

Q24. お勤めの企業で、このような企業向け／法人向け損害保険に加入していない理由をお知らせください。

※回答対象:損害保険いずれか非加入(n=976)

	n	リスクが発生する可能性は低いと考えているため	対策をする費用に余裕がないため	リスクによって生じる影響・損失が分からないため	保険料を他のことに使いたいため	他に優先順位の高い経営課題があるため	そのような保険があることをあまり知らなかったから	貯蓄等で対応できると考えているから	具体的な対策方法がわからないため(相談先がわからない)	対策をする時間に余裕がないため	対策をする人手に余裕がないため	対策の必要性について社内理解が得られず、予算を獲得・確保できないため	周囲の企業もそのような保険に加入していないから	保険以外のリスクヘッジの方法をとっているから	社内や周囲の専門の人材がいないため	その他	わからない／特に理由はない (%)	
全体	976	35.2	26.8	23.0	18.9	16.4	16.0	13.2	12.9	12.0	10.3	9.8	9.8	9.6	9.5	1.7	25.8	
保 險 種 別	火災保険	265	17.4	20.0	6.8	11.7	4.9	0.8	3.4	3.0	5.7	3.8	3.0	1.5	3.8	1.1	1.5	34.3
	地震危険補償特約(火災保険の特約)	493	18.7	17.6	8.1	9.7	6.7	4.3	2.8	3.2	2.8	2.6	2.0	3.0	2.2	1.2	34.1	
	知的財産賠償責任保険	517	25.3	13.0	11.2	6.6	9.1	6.4	3.1	4.1	3.7	3.7	3.9	4.8	2.7	3.5	0.8	32.3
	動産総合保険	395	22.5	11.9	11.1	5.6	7.6	8.9	3.5	4.3	4.1	4.1	3.3	2.8	2.8	4.1	1.0	35.9
	休業補償保険(企業費用・利益保険、店舗休業補償保険など)	665	17.3	17.0	8.4	9.2	8.3	5.4	6.2	5.6	3.9	3.6	3.2	2.7	2.9	2.6	0.6	32.5
	取引信用保険	384	18.8	12.5	9.9	7.0	9.1	9.4	3.9	6.5	4.7	4.7	3.6	2.6	4.2	3.9	0.5	30.7
	施設賠償責任保険	347	24.8	13.5	8.6	7.8	9.2	4.6	5.5	4.3	5.8	3.5	3.7	2.9	2.0	6.3	0.3	31.1
	生産物賠償責任保険	405	24.9	13.6	10.6	6.7	7.2	4.7	4.2	4.4	4.4	3.0	3.5	3.2	3.0	3.2	1.0	34.3
	請負賠償責任保険	353	24.4	14.7	7.6	7.4	7.6	6.5	4.2	5.7	3.1	4.5	4.5	4.2	2.3	3.7	0.3	33.7
	業務災害補償保険(労働災害総合保険)	391	21.7	18.9	8.4	7.9	7.7	5.4	4.6	6.6	4.9	3.3	3.6	2.6	3.6	4.3	1.0	30.7
	傷害保険	557	22.3	16.7	7.0	11.5	6.6	4.3	3.4	3.8	3.2	2.3	2.7	2.2	2.0	1.4	0.7	32.7
	会社役員賠償責任保険(D&O保険)	342	23.1	11.7	8.8	7.6	8.5	6.1	6.7	3.8	6.1	5.8	3.8	5.0	5.0	3.5	0.9	30.4
	雇用慣行賠償責任保険・特約(EPL保険・特約)	308	21.1	12.7	10.1	5.2	7.8	7.8	5.5	4.9	3.6	4.5	3.9	1.3	3.2	4.2	1.0	32.8
	情報漏えい賠償責任保険	351	23.9	12.5	10.5	5.4	8.5	6.3	5.1	6.8	5.7	8.0	4.3	3.7	4.3	5.1	0.6	27.9
	サイバー保険	435	23.2	15.2	13.6	5.5	8.3	5.1	2.1	5.1	6.9	6.9	5.3	2.5	5.5	6.2	0.7	25.7

■:1位、■:2位、■:3位

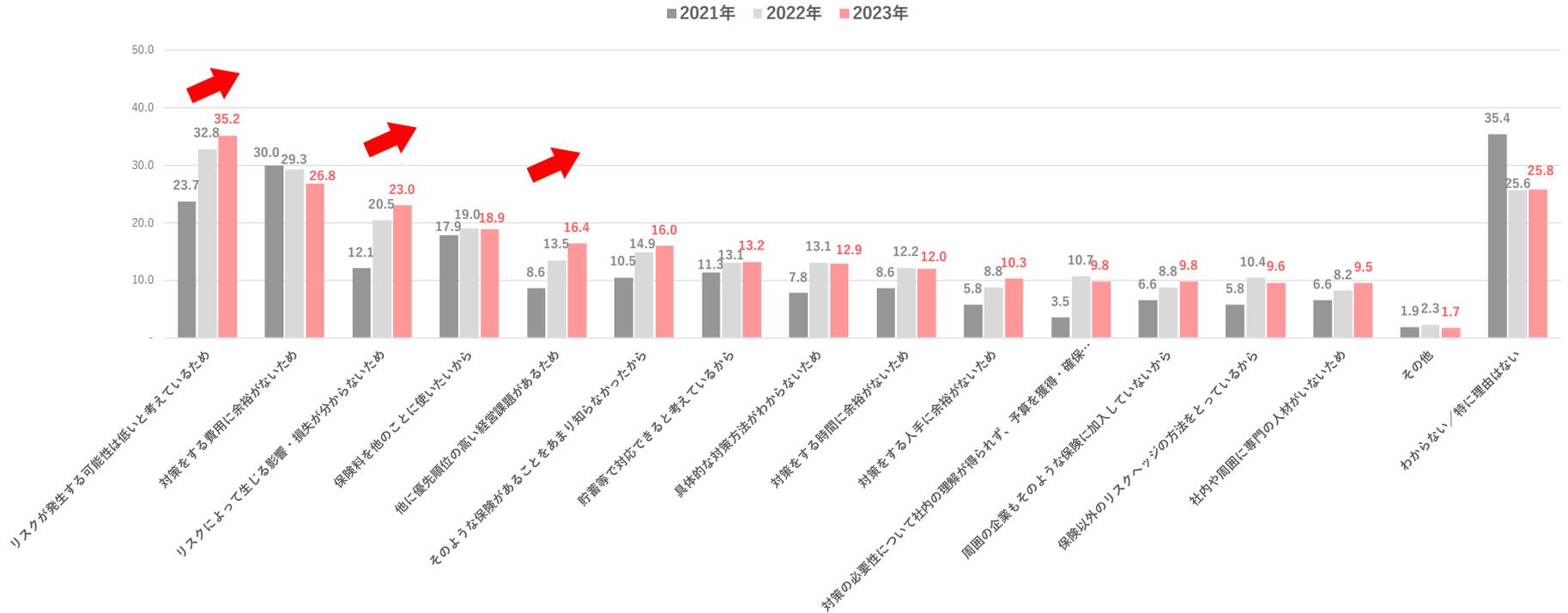
※全体のポイントで降順

3. 調査結果 企業向け損害保険 Q24非加入理由 ②時系列比較

- 「リスクが発生する可能性は低いと考えているため」「リスクによって生じる影響・損失が分からないため」「他に優先順位の高い経営課題があるため」等が年々増加している。

Q24. お勤めの企業で、このような企業向け／法人向け損害保険に加入していない理由をお知らせください。

※回答対象: 損害保険いずれか非加入 (n=976)



3. 調査結果 企業向け損害保険 Q25加入意向 ①

- 企業向けの損害保険への加入意向は、「情報漏えい賠償責任保険」「サイバー保険」「業務災害補償保険(労働災害総合保険)」「地震危険補償特約」が上位に挙がる。
- 一方、ほとんどの保険において「どちらともいえない」が全体の4割程度を占めている。

Q25. あなたは、今後お勤めの企業で、どのような企業向け/法人向け損害保険に加入したい(加入して欲しい)と思いますか。

※回答対象:損害保険いずれか非加入(n=976)

	n	加入意向					加入したい計 (%)
		■ とても加入したい (加入して欲しい)	■ やや加入したい (加入して欲しい)	□ どちらともいえない	□ あまり加入したいと思わない (加入して欲しいと思わない)	■ 全く加入したいと思わない (加入して欲しいと思わない)	
全体	976	7.6	36.3	35.8	12.0	8.4	43.9
保 險 種 別	情報漏えい賠償責任保険	5.1	22.5	38.7	17.1	16.5	27.6
	サイバー保険	4.4	23.2	39.1	17.9	15.4	27.6
	業務災害補償保険	3.8	21.0	41.4	17.1	16.6	24.8
	地震危険補償特約	2.0	22.7	43.4	16.2	15.6	24.7
	雇用慣行賠償責任保険・特約	3.9	19.5	42.5	20.5	13.6	23.4
	休業補償保険	3.0	19.4	42.3	20.9	14.4	22.4
	火災保険	2.6	19.2	43.8	15.8	18.5	21.9
	請負賠償責任保険	2.3	18.7	36.5	24.4	18.1	21.0
	会社役員賠償責任保険	2.3	18.4	43.0	22.8	13.5	20.8
	取引信用保険	3.4	17.2	44.3	21.1	14.1	20.6
	傷害保険	1.4	17.8	44.3	20.6	15.8	19.2
	施設賠償責任保険	1.7	14.7	42.9	22.2	18.4	16.4
	生産物賠償責任保険	2.7	11.4	37.8	23.7	24.4	14.1
	知的財産賠償責任保険	1.9	11.0	42.7	23.4	20.9	13.0
	動産総合保険	1.0	11.1	45.3	23.8	18.7	12.2

※加入したい計のポイントで降順

3. 調査結果 企業向け損害保険 Q25加入意向 ②時系列比較(TOP2BOX)

- 2022年調査と比較すると、「情報漏えい賠償責任保険」が4.5pt、「火災保険」が4.0pt増加。
- 一方で「傷害保険」は4.1pt低下。

Q25. あなたは、今後お勤めの企業で、どのような企業向け／法人向け損害保険に加入したい(加入して欲しい)と思いますか。

※回答対象:損害保険いずれか非加入(n=976)



※2023年のポイントで降順
※スコアがないものは未聴取

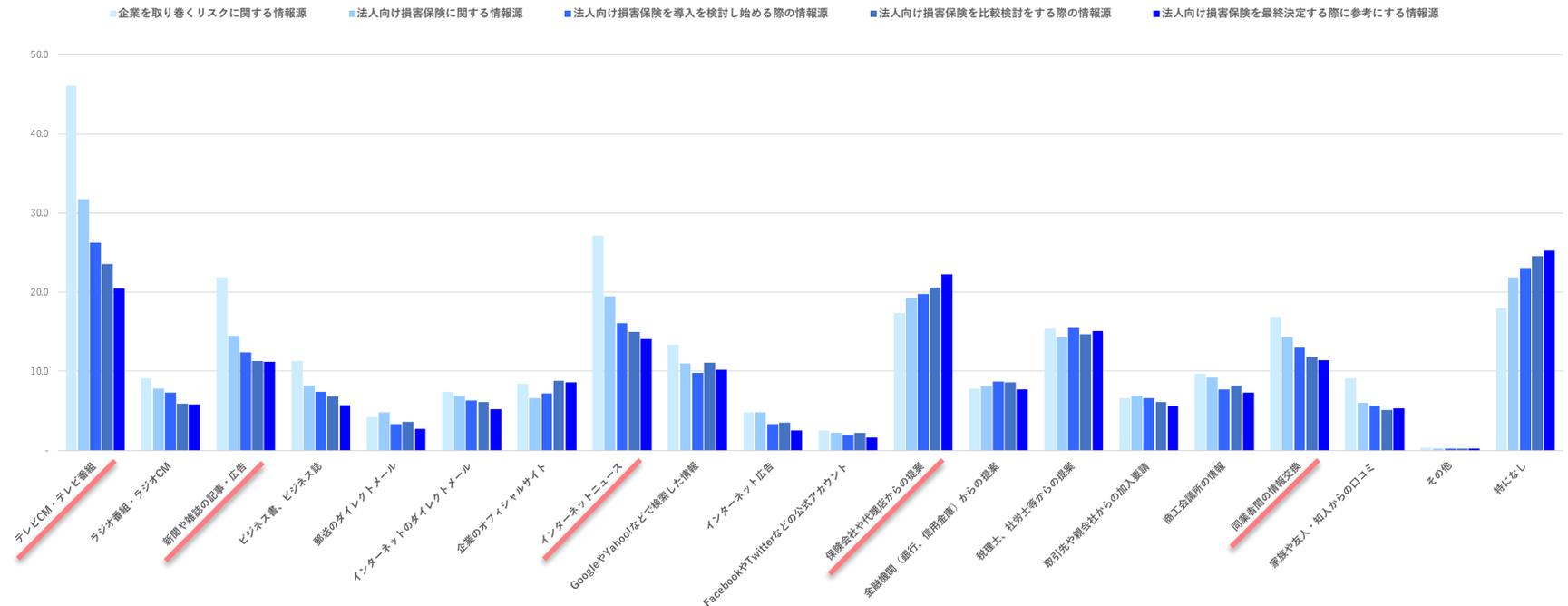
3. 調査結果 企業向け損害保険 Q26情報接点

- 企業を取り巻くリスクに関する情報源は「テレビCM・テレビ番組」が突出。以下「インターネットニュース」「新聞や雑誌の記事・広告」「保険会社や代理店からの提案」「同業者間の情報交換」が続く。
- 法人向け損害保険を最終決定するフェーズでは「保険会社や代理店からの提案」がトップ。

Q26. リスクや企業向け/法人向け保険に関する情報源についておうかがいします。

- ① 普段、どのようなところで企業を取り巻くリスクに関する情報を見聞かしていますか
- ② 普段、どのようなところで企業向け/法人向け損害保険に関する情報を見聞かしていますか
- ③ 企業向け/法人向け損害保険の導入を検討し始める際に、どのように情報を収集しますか
- ④ 企業向け/法人向け損害保険の導入を比較検討する際に、どのように情報を収集しますか
- ⑤ 企業向け/法人向け損害保険の導入を最終決定する際に、どのような情報を参考にしますか

※回答対象: 全体(n=1,031)



3. 調査結果 企業向け損害保険 Q27選択時に重視すること

- 企業向け損害保険選択時の重視点は、「保険料が安いこと」(45.9%)が最多。以下、「補償が充実していること」(36.1%)、「補償内容の分かりやすさ」(29.8%)が続く。
- 2022年調査と比較すると、「保険会社や保険代理店の担当者の知識が豊富であること」が5.0pt低下した。

Q27. 企業向け／法人向け損害保険をお選びになる場合、どのようなことを重視しますか。以下の中からあてはまるものをすべてお知らせください。

※回答対象:全体(n=1,031)



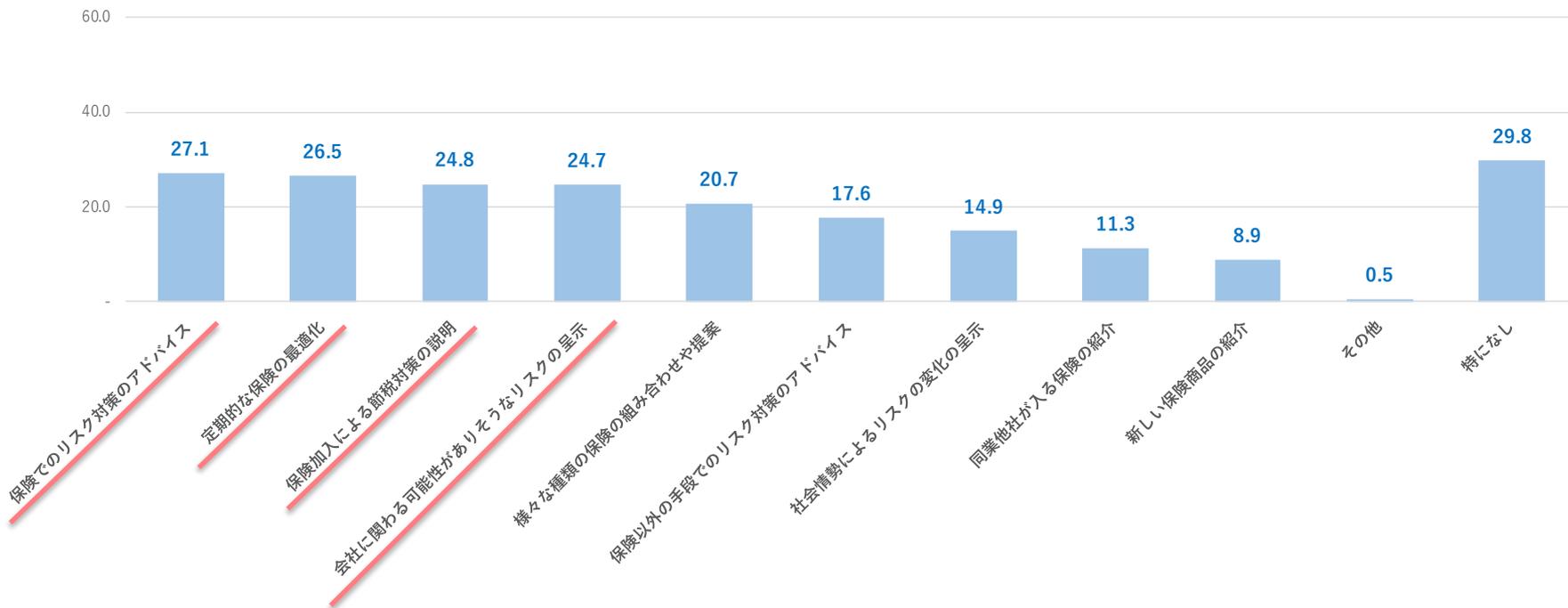
3. 調査結果 企業向け損害保険 Q28期待すること

- 企業向け損害保険に期待することは「保険でのリスク対策のアドバイス」「定期的な保険の最適化」が高い。次いで「保険加入による節税対策の説明」「会社に関わる可能性がありそうなリスクの呈示」が続く。

Q28. あなたは、お勤めの企業で、企業向け／法人向け損害保険に加入して（加入する場合）、保険会社や担当者に何を期待しますか。

※回答対象:全体(n=1,031)

■ 企業向け／法人向け損害保険に期待すること

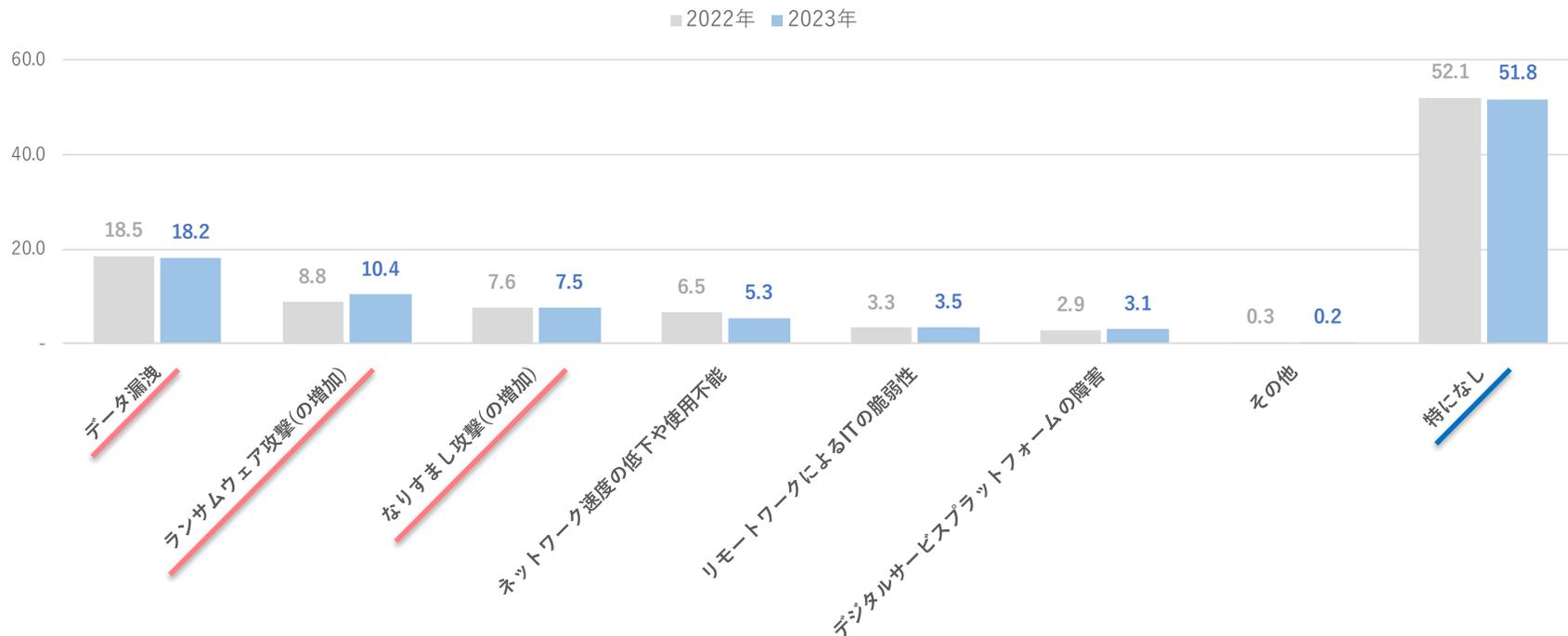


3. 調査結果 企業向け損害保険 Q29サイバー攻撃に対する対策

- 2022年調査と比較すると、ほぼ横ばい。
- 懸念するサイバーリスクは、「データ漏洩」(18.2%)が最も高く、以下、「ランサムウェア攻撃(の増加)」「なりすまし攻撃(の増加)」が続く。
- ただし、半数以上は「特になし」と回答している。

Q29. 病院や部品メーカーなどに対するサイバー攻撃による被害が報道されていますが、お勤めの企業で、最も懸念するサイバーリスクについて教えてください。

※回答対象:全体(n=1,031)



SONPO